

国際会長テーマ

「奉仕の世界」

ウェイン A. マデン



今月の特集

アジアフォーラム
年次大会呼びかけ
2012 年度冬期 YCE レポート

ガバナーテーマ 少欲知足 “三方よし” 仲間の「話」クラブの「和」地域の「輪」

アクティビティスローガン 健康で We Serve “継続は力なり” 綿密な準備とチームワーク



●早い

軽度な手のひらサイズの小傷やエクボ、
構造フレームにまで至るような大破
長い経験と最新のテクノロジーにより、驚くスピードで対応！

●安い

短時間で修理するから、コスト削減にも成功！
外注に出さずに、すべて自社にて修理を行うので安く済みます。

●キレイ

細心テクノロジーにより、どんな色でも分析可能！
色、仕上がりとも傷あとがわからない状態にまで仕上げます。

新車・中古車・車検整備・板金塗装・コーティング・各種保険 株式会社 森清モータース

〒600-8334 京都府京都市下京区油小路通六条下る西若松町 258 番地の 1 TEL : 075-371-5011
<http://morisei.info/>

L 森 守克（京都南 LC）



だれかの
たった一度の人生を
どのくらい大切に思えるか。

ともに生きるということ
LIFEPLANNER VALUE.
ライフプランナーバリュー

ソニー生命保険株式会社

SL12-7233-0030

〒107-8585 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館

ホームページ www.sonylife.co.jp

カスタマーセンター

0120-158-821

受付時間 9:00～17:30
(ゴールデンウィーク、年末年始を除く)

L 山本 尚順（京都南 LC）



ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

第59回 地区年次大会

We Serve (われわれは奉仕する)

大会テーマ
「Atsui 熱き心・厚い心・篤き心」

2013
3

ライオンズクラブ国際協会 335-C地区第59回年次大会を、滋賀県で2013年4月20（土）大津プリンスホテルにおいて開催いたします。滋賀の地での年次大会は、第36回年次大会が1990年4月22日に彦根で開催されてから23年ぶりになります。

第59回年次大会には、地区内多くのメンバーが参加し、楽しく友情を深める場に、感動の場に、明日への発展の場になるように努力する所存であります。

式典では、ヨシ笛ミニコンサート又、懇親会ではビッグバンドジャズオーケストラで楽しんでいただく予定です。どうか多くのメンバーのご参加をお願い申し上げます。

地区年次大会委員長 南 英三

ライオンズクラブ国際協会 335-C地区

第59回年次大会 公式プログラム

開催日 2013年4月20日（土）

開催場所 代議員総会、式典、懇親会

大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海（おうみ）」

時間 および 会場

9:30-10:00	代議員登録	1F	受付
10:00-10:25	資格審査委員会	1F	「石楠花1（しゃくなげ）」
10:00-10:25	議事運営委員会	1F	「石楠花2（しゃくなげ）」
10:00-10:25	指名・選挙委員会	1F	「叡山堇1（えいざんすみれ）」
10:30-12:45	代議員総会	2F	「淡海（おうみ）」
12:45-13:30	式典 受付	1F	受付
13:30-16:00	式典	2F	「淡海（おうみ）」

懇親会

16:30-18:30	懇親会	2F	「淡海（おうみ）」
-------------	-----	----	-----------

・大会事務局	1F	「叡山堇2（えいざんすみれ）」
・開票所	1F	「叡山堇1（えいざんすみれ）」
・インフォメーションセンター	1F	ロビー
・ご来賓控室	1F	「石楠花（しゃくなげ）」
・医務室	1F	「御幸（みゆき）」
・代議員昼食会場	2F	「淡海（おうみ）」

※代議員の方は、代議員総会終了後、式典開始時間（13:30）までに昼食をお済ませ下さい。

* The 51st OSEAL FORUM *

ライオンズクラブ国際協会 第51回 OSEAL フォーラム福岡が2012年11月8日(木)～11日(日)の4日間、福岡市で開催されました。福岡市は大いなる緑と都市の利便性を共有する、自然環境に溢れる国際都市であります。国内外から多数のライオンズメンバーが福岡に集い、フォーラムセミナー・観光・グルメ等々を楽しまれたことと存じます。335-C地区からは、389名という多くの方のご参加を賜り誠に有り難うございました。

大会は、マリンメッセ福岡とその周辺で、「YCE」「地球環境」「レディース」等々・・・各セミナーや、各々の晩餐会・レセプションに参加され、各国ライオン相互の親善・友好、そしてライオンズの高揚に努められました。その中で9日の開会式 オープニングアトラクションは圧巻でした。それは鍛え抜かれた肉體集団が演ずるエンターテインメント「TAO」の面々。男か女か・・・？ 引き締まった肉體が叩く和太鼓の強力な迫力に唖然とする。そこへ笛や琴が奏でる幻想的な音色で、艶気あふれる舞台は感動で感嘆の渦に包まれました。又 国技の大相撲秋場所が11日からこの地で開催されるので、伊勢ヶ濱部屋横綱 日馬富士関も顔を見せられ、錦上花を添えての賑々しいオープニングとなりました。続いて開会宣言&ゴング、日米の国家演奏、参加国紹介、加藤登紀子歌唱、不老安正フォーラム委員長・小川福岡県知事・高島福岡市長・ウェイン・A・マデン国際会長が挨拶された。今回の大会テーマは「Leadership」で、クラブメンバー各々が指導者として、社会奉仕の情報発信基地たることを誓い合い、一通りのセレモニーで開会プログラムを閉じた。

その後ジャパンレセプション(ホテル日航福岡)があり、奥村協議会議長・南ガバナー始め、元ガバナーや地区役員等が出席されましたが、人が多く粗雑で今一つだったとの感想でした。

場所を「ホテルオークラ福岡」に移し、335-C地区のガバナー晩餐会が19時から4Fの「平安の間」で、いまだ かつてない330名という多くの会員皆様方のご出席のもと、盛大に開催されました。まず南ガバナーより、6月の釜山国際大会で地区ガバナーに指名され順風満帆と思いきや、その後に、おいて体調を崩し入院生活を余儀なくされ、第一・第二副地区ガバナー始め皆様方に多大のご迷惑と心配をかけたお詫びと、お陰様で復調して10月よりガバナー業務に完全復帰し、今は元気にハリキッテ任務を全うしている旨の、明るい希望のご挨拶があった。後 奥村協議会議長と足立前ガバナーがご挨拶され、児玉第一副地区ガバナーのご発生で開宴となった。お酒はフリードリンクでワインに始まり、ビール・お酒・焼酎等々・・・料理は洋食の卓盛りでオークラ自慢の季節メニューで豪華版。ポリウム・味覚・嗜好は人それぞれで大体会は好評のようであった。

宴たけなわの中、福岡での宴席は「祝いめでた」という唄で締められるらしい。地元は博多より、刺子法被姿が勇ましく3名の青年が音頭を取り、歌詞カードを見ながら会員全員が「祝いめでた」を謡い、その後 森井第二副地区ガバナーの開宴の挨拶でめでたく終宴となった。ガバナー晩餐会も大成功裏に終り、後は各々のクラブパーティーが、博多の街に三々五々消えて夜を満喫された。それぞれに各クラブ間の親善と交流、各メンバー間の親睦と友情を確認した一夜でありました。

10日は「奉仕の世界」国際会長テーマ・セミナーやレディースプログラムが主なカリキュラムで、レディースの第1部 田中真紀子氏の講演が諸般の事情で歌手の由紀さおり氏に変更されていたのが気になった。

同じく10日にウェイン・A・マデン国際会長歓迎晩餐会が19時より「ホテルニューオオタニ博多」で開催された。各国より多数の参加があり総勢800名位で、

風景



当地区からは奥村協議会議長・南ガバナー・森井第二副地区ガバナー始め、キャビネット役員・地区役員等、小生も出席した。博多の芸者衆の舞踊が始まり、フォーラム委員長や福岡県知事・市長の歓迎の挨拶に続き、ライオンズに多大の貢献された方々の表彰があり、歓迎の祝宴が盛大に催され国際会長も満足されていたことでしょう。本席も「祝いめでた」の唄で締めとなった。

11日は大会最終日。閉会式はフォーラム委員長他大会役員の挨拶後、各協議会議長への協議会旗の引き渡し、続いて第52回 OSEAL フォーラム委員長へバナーの手渡しが終わる、閉会ゴングで幕を閉じた。思い出多き記念すべく日本で開催の第51回 OSEAL フォーラム福岡が終了し、次回開催国はシンガポールへの架け橋が広がった。

今度は世界大会で、第96回ハンブルグ国際大会【2013年7月5日(金)～9日(火)】ドイツのハンブルグで開催されます。

ライオンズメンバーの多数のご参加をお願い申し上げます。

地区国際関係委員長 市井 洋



ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

* The 51st OSEAL FORUM *

2013
3

開
会
式



ジャパンレセプション





ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

* The 51st OSEAL FORUM *

335-C 地区ガバナー晩餐会



国際会長歓迎晩餐会



2012 年度冬期 YCE 来日レポート

交換プログラムを終えて

ケイトリン・アナマリア・キルビン (ニュージーランド)

Caitlin Anna-Maria KILPIN

ホストファミリー 京都むらさきLC：竹内様

私は約5週間の間に多くのことを経験しました。たくさんさんの寺院を参拝し、生け花、舞妓、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、着物、茶道、銭湯、能や落語鑑賞などです。日本の豊かな文化や魅力的な歴史、美味しい和食、全てが好きになり、日本に恋をしました。日本で過ごした毎日が冒険で、ニュージーランドの生活とは完全に異なりました。

私は京都で時間を過ごすのが好きでした。京都には祇園や先斗町の狭い通りや、宇治の抹茶専門店など、素晴らしい場所がたくさんあります。金閣寺や龍安寺のような場所では、日本独特な静けさと平和を体中に感じました。そして、人々はとても親しみやすく、いつでも気を使ってくれました。

私が竹内家と共に日本で過ごしたことはとても幸運でした。彼らは、素晴らしいホストファミリーで、私のために様々な努力をしてくれました。私は彼らに永遠に感謝します。彼らは私にとって第2の家族です。また日本がもう一つの家のように感じました。

私にとって、日本への留学は生涯で初めてでした。私は



この留学を可能するのに手伝ってくれた全員に感謝します。私はたくさんの思い出を持って家に帰ります。私は多くの若者が日本という素晴らしい国を経験出来るように、この交換プログラムの推薦しなければならいと感じたため、私の全ての家族と友人に知らせようと考えています。有り難うございました。

チャイ イェン ウエイ (マレーシア)

CHAI YEN WEI

第1ホストファミリー 京都京洛LC：河内様

第2ホストファミリー 木之本LC：平井様

日本での三週間に渡るユースエクスチェンジプログラムを通して、私は多くの日本の文化やしきたりを学びました。まず最初に、日本にいる間、私の世話をとても良くしてくださった二つのホストファミリーに「ありがとうございます」と言いたいです。

京都の河内ファミリー、彼らは12月14日から23日までホストしてくださった、最初のホストファミリーで、しゃぶしゃぶを準備して迎えてくれました。また、多くの日本の料理、例えば日本の冷麺つけ麺、おでん、カレー、たこ焼き、寿司、モダン焼き、お好み焼き、さきそば、うなぎ丼などを食べて見ました。そして何よりサケを味合うことが出来てとても嬉しかったです。

食べ物以外にも、私は京都で多くの場所へ訪れました。京都で一番大きな鳥居のある平安神宮、東映太秦映画村、嵯峨の竹林、姫路中央公園のサファリパーク、金閣寺、銀閣寺、大阪にある日本で二番目に大きい海遊館などです。また、ホストブラザーは私を日本の温泉に連れて行ってくれました。温かいお湯に浸かるのはとてもリラックス出来ました。クリスマスキャンプへ行く前の河内ファミリーでの最後の夜には、フェアウェルディナーを作ってくださいました。また、私はゴルフのトレーニングセンターでゴルフのプレイの仕方を教えてもらいました。

24日から26日までのユースエクスチェンジキャンプのあいだ、様々な国々、日本、クロアチア、ニュージーランド、ペルーそしてオーストラリアから来た、多くの友達と出会い、ともにキャンプを楽しみました。

そして12月26日から1月6日までは木之本の平井ファミリーとともに過ごしました。彼



らはとてもおもしろくフレンドリーな家族で、ペルーから来た別のYCE生もステイしていました。私は日本の列車の乗り方を教わったり、ホストファミリーの会社へ行ったりしました。ホストブラザーの創一朗とホストマザーとお茶会へ連れて行ってくれました。また、富士山を見に行ったり、日本最大の湖である琵琶湖の夕日を見に行ったり、寿司屋でお寿司を頂いたり、余呉湖やその近くの古い農家で新鮮な手作りの餅を食べたり、彦根城へ行ったりしました。大晦日には近くの寺と神社へ行ったり、いい年と家族の健康を祈りました。また、多賀大社へ行って辺りを散策したりしました。またキッチンでホストマザーと夕食の準備をしたりしました。



4日はUSJへ他のYCE生と一緒に行きました。中はとても混んでいましたが、全部すごくて、特にジェットコースターと夜のパレードがすごかったです。最後にもう一度ありがとうと日本であつた皆さんに伝えたいです。日本へ行つて、日本の文化や食べ物、伝統など色々な物を体験する機会をくださったことに感謝します。

2012 年度冬期 YCE 来日レポート

野洲でのホームステイ
リー・スージー (マレーシア)

LEE SUZIE

第1ホストファミリー 宮津LC：中西様&織田様
第2ホストファミリー 野洲LC：吉田様&酒井様

私は、2012年12月26日に六甲山から野洲に来ました。野洲に来た最初の日に、クリスマスパーティーを兼ねた私の歓迎会に出席しました。野洲ライオンズクラブの方々は、大変親しみ易い方々でした。クリスマスパーティーに於いては、ビンゴゲームが有り、私としては初めての経験でした。その後マジックショーが有りました。マジシャンは、彼のマジックショーに於いて専門的なショーを行いました。

そして、12月27日朝、吉田ママと私は私の荷物のいくらかを自宅へ送る為、郵便局へ行きました。その後、私達は昼食の為レストランへ行きました。夜は、吉田さんの家族の皆さんと一緒に食事をしました。

12月28日、吉田さんの家族と滋賀の水族館へ行きました。到着した所、水族館は閉まっていた。そこで、予定を変更し近江八幡市水荃焼陶芸の里にて陶器を作ることにしました。昼食後、陶器のカップを作り始めました。

更に29日、私は献血運動(野洲LC・平和堂)に参加しました。そこには沢山の方が参加されてました。その後、八幡山へケーブルカーで行きました。そこでの景色は本当に最高でした。

12月30日午前11時、私達は買い物の為滋賀のイオンへ行きました。レクレーションセンター内の"Taiyondatsujin"で遊び、午後6時に帰宅しました。

31日、私達は散歩に叶匠壽庵へ行きました。その後、神社へ行き着物を着ました。そして、第4のホストファミリーである酒井さんの家へ行きました。(前期第1・2ホストは宮津LC、第3

は野洲LC L吉田良子、第4は野洲LC L酒井清裕)

2013年1月1日、正月ですので私達は早く起きました。私達は、一年の無事をお祈りする為、菅原神社、西徳寺更に子安地藏堂に行きました。

1月2日、私達は京都の太秦映画村へ行きました。そこで私達は侍の衣装を着ました。そこは特別な場所でした。又、私達は幽霊屋敷や迷路へ行きましたが、本当に楽しかったです。

1月3日、私達はバスでライオンズの人達と長浜へ行きました。雪の降っている日でした。

私達は、大通寺へ行きました。近くに長い通りが有り、その多くの店はガラス加工品を扱っていました。その後、長浜ロイヤルホテルへ行き昼食を取りました。そして、彦根城へ行きました。彦根城では、ひこにゃんのパホームスが行われており、非常に可愛かった。その後、第3のホストファミリーであります吉田さんの家へ戻りました。

1月4日、ユニバーサルスタジオジャパンへ他のYE生と共に行きました。ユニバーサルスタジオへ入ると、そこは非常に綺麗な所でした。私達は、ハローキティファッション街、ジョウズ、ジュラシックパーク、サンフランシスコそしてハリウッドへ行きました。

私達は、当日が祭日で有る為、それらの全てを楽しむことは出来ませんでした。何故ならばあまりにも人が多く、一か所で1~2時間並んで待たなければならぬからです。夜には、ユニバーサルスタジオのパレードを楽しみました。そして夕食の後、ホスト家族の元へ帰りました。

1月5日、ホストママが私の荷物のいくらかを自宅へ送る手助けをしてくれました。その後、私達は琵琶湖の近くのレストランへ昼食を取りに行きました。この夜、私達は日本での最後の夕食をレストランで取りました。私は、ホストファミリーにさようならと感謝の気持ちを伝えました。

1月6日、私はマレーシアへ戻らなければなりません。野洲から関空はあまりにも遠い為、朝6時にJR草津駅・はるかにて出発しました。

2012 年度冬期 YCE 来日レポート

「日本での3週間のホームステイ」
 リュウ・チン・ウェン（レオニー）（マレーシア）
 LEOW QIAN WEN
 第1ホストファミリィ 京都華頂LC：松廣様
 第2ホストファミリィ 八日市LC：中原様

先ず初めに、三週間のホームステイを体験させてくださった、マレーシアのコタ ティンギLCに感謝しております。そして日本のLCの皆さんの事は忘れません。

私が一番難しいと感じた事は言葉でした。日本語が少ししか話せないの、伝えたい事がなかなか伝える事が出来ませんでした。しかしホストファミリィの皆さんは我慢強く、またやさしく見守って聞いてくれました。ボディーランゲージや簡単な日本語と英語を組み合わせて、コミュニケーションが取ることが出来ました。

また特に日本のLCの皆さんに大きな感謝をしています。とても素晴らしい温かなおもてなしをして頂きました。貴重な経験となり、この様な日本の温かなおもてなしの文化を、マレーシアでも広めていきたいです。日本の礼儀正しさや、公共マナーを守るところ、サービス精神や文化はとても素晴らしいもので、マレーシアには無いものだと思いました。

私は観光地へ連れて行って頂く事がとても好きでした。ホストファミリィの皆さんのお陰で多くの観光施設へ連れて貰いました。神社やお寺はとても素敵でした。一番のお気に入りは金閣寺です。また八日市では、大晦日に野々宮神社に行き、獅子舞の舞を見ました。興味深かったのは、獅子舞に頭を噛んで貰うと頭が良くなる事です。又、絵馬に願い事を書く事も出来ました。

京都滞在中は有馬温泉に行き、初めて何も着ずに温泉に入った事は、忘れられない経験です。そしてルミナリエでホストファミリィと過ごした事も忘れられません。又、陶芸にも連れて行って貰い、日本のお茶碗、コップやお皿などを作り、青いインクで絵（お寺、ふくろう、竹など）を書きました。陶芸教室の方が「マレーシアまで送りましたよ」と言ってくれて、とても嬉しかったです。



又、洛中LCの方がとても素敵なクリスマスパーティーを開いてくださいました。京都のホストママに着物を着せて貰い、LCのメンバーの方がサンタに扮し、トナカイとダンスを踊ってくださいました。彼らの夜はとっても楽しかったです。又、12月

23日はとても複雑な一日でした。なぜなら京都のホストと過ごす最後の日だったからです。LCメンバーのお孫さんとお友達（ささちゃんと同じなちゃん）と、奈良に連れて行ってくれました。鹿と写真を撮り、お昼にお蕎麦を食べました。奈良の大仏はとても素晴らしく、ささちゃんと同じなちゃんは大仏の歴史をたくさん教えてくれました。そして一緒にプリクラを撮りました。日本のプリクラは目が大きく写ってお人形のように写るのでとてもおもしろかったです。

ユースキャンプではたくさんの方と会いました。日本の食事や文化、観光地などについてたくさんを教えてください、そして六甲山へ行き、雪の中パークビューを楽しみました。ゴンドラや淡路島もとても楽しかったです。キャンプの最後の日、私のグループは短い落語を披露しみなさんにたくさんのお声と拍手を頂きました。キャンプの後、私は次のホストファミリィの住む滋賀県東近江市へ行きました。

東近江市はのどかな田舎町でした。静かで畑や田んぼが見渡せ、伝統的な日本家屋もたくさんありました。ホストファミリィの中原家は温かく私を受け入れてくださいました。私は東近江市が気に入りました。なぜなら慌ただしい都市とは違いゆっくりと過ごしたからです。山々の風景はとても素敵で感動し、ゆったりと過ごせました。

中原家のみなさんは、愛をもって私を受け入れてくださいました。いつも気遣ってくださり、私はマレーシアからの留学生ではなく、彼らの娘のようでした。新年は中原家のみなさんと親戚の方と過ごしました。たくさんさんの笑い声に満ち溢れた新年でした。私はおばあちゃんが大好きでした。彼女は英語が話せませんが、一緒に味噌やお餅を作り楽しみました。行動は言葉よりも雄弁なり、とはまさにこの事で、彼女との言葉にならない会話に愛を感じました。私はとても心を動かされ、彼らと離れたいありませんでした。お母さんが作ってくれた料理も、忘れる事が出来ないうえです。日本での思い出を胸の底ですつと忘れずにいたいのです。

また八日市LCの皆さんは、私の為に美味しい料理を用意してくださり、私を家族の一員として受け入れてくださいました。1月4日のさよならパーティーでは、たくさんのお土産を頂き感謝しています。

最後になりましたが、私の日本滞在中、私に関わってくださいました皆さんにもう一度感謝を申し上げます。LC無しには人生の1ページに残る素敵な思い出を作ることが出来ませんでした。これからもホストファミリィのみなさんとは連絡を取り合い、そして近いうちに再び日本に行きます！

2012 年度冬期 YCE 来日レポート

レポート

ファン・D・パストール (ペルー)

Juan D. PASTOR

第1ホストファミリィ 木之本LC:平井様

第2ホストファミリィ 京都洛南LC:塩見様

この度はライオンズクラブ国際協会335-C地区、木之本ライオンズクラブの皆様、京都洛南ライオンズクラブの皆様には大変お世話になりました。

特に木之本ライオンズクラブの平井様とご家族の皆さん、京都洛南ライオンズクラブの塩見様とご家族の皆さんには本当にお世話になりました。

私は日本の文化や世界遺産に興味がありましたが、東京・広島・大阪・神戸等の遠方にもお連れ頂き、私の興味あった名所や沢山の世界遺産を観光することが出来、日本の歴史と文化を学ぶことが出来ました。

ライオンズクラブ国際協会335-C地区の皆様に感謝しています。ありがとうございました。



「日本に来て」

シェリー・シン・ラン・ウオン (シンガポール:マレーシア国籍)

Serine Xinn Rann WONG

第1ホストクラブ 337-C地区

第2ホストファミリィ 京都華頂LC:松廣様

私は2012年12月1日に長崎に来ました。

第一ホスト森永さん、ハスミLCの理事長・タサキさん、マコトさん、交換留学生ERI、アイルランドから来た英語の先生EMMA、沢山の素敵な人達に会った。ハスミ町は美しく小さな町で、家も半分は木造で伝統的な部分の有る家だった。

パパはJUMBOと言うレストランをしており、ママは素敵で料理が上手。専業主婦ですがたまにレストランの手伝いもしている。タサキさん、森永家には娘3人居て、イタリア料理店で働いている。タサキ25歳・サキ20歳はコックとして、シノ19歳はサービスの仕事をしている。あと、モコと言う犬を飼っていた。ハスミに来て沢山の思い出が出来た。

晴しい所を参観して数々の思い出が出来た。12月15日に京都の第二ホスト松廣さんの所に来た。京都市は古い寺院仏閣も有りながら、都会で家も現代的だった。同じYCEのマレーシアから来たLeonie 19歳と、パパとママが娘の様に可愛がっている、中国から日本の大学に留学中の佳敏20歳と、娘が3人出来た様だと言って、本当の娘の様に愛してくれた事がとても嬉しかった。

京都・神戸・大阪・奈良観光、滋賀県の琵琶湖では綺麗な雪を見る事が出来た。また多くの人達との交流も出来た。パパ・ママは料理が上手で、とても美味しく、Leonieはマレーシア料理を作ってくれた。毎日沢山の食糧を来日して太ってしまった。あと、多くの日本語を教えて貰いスピーチをする機会も在り、日本語で話す事が出来た。また英語が話せる人も多く、不自由な事無くとても楽しく過ごすことが出来た。

両ホストファミリィの方々への感謝と、楽しい生活を忘れずに、色々学んだ事をこれから活かしていきたいと思っています。



2012 年度冬期 YCE 派遣レポート

『ペルー放浪記』

派遣先：ペルー
京都京洛 LC 武村 賢吾

それは僕にとって初めての冒険となった。『ペルー』日本から飛行機で一回アメリカで乗り継いで約24時間、まる一日かけて辿り着いた南米にある国。インカという文明が大昔存在しその文明は宇宙人が来て高度な技術を教えてもらったのではないかとされるほど発達した技術をもっていた。ペルーは一番初めに外国で初めて日本人の大統領が就任された国でもある。そんな歴史ある地に12月20日僕は降りた。

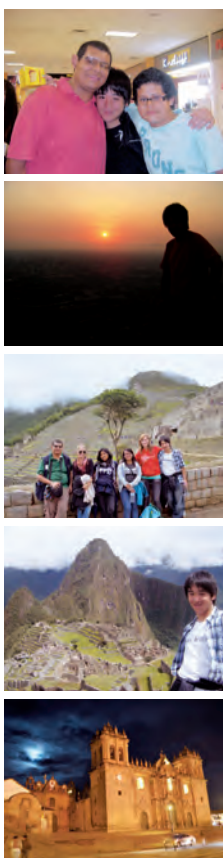
ペルーの飛行場を出るとこれからお世話になるホストファミリーの方たちが出迎えてくれた。とても親切な家族たちでペルーの人たちがどんな人柄なのかを窺うことができた。ペルーだけに限らず外国の人たちは皆心が温かくとても親しみやすい。ここは日本人が見習う所でもある。

僕が受け持ったホストファミリーの方たちは毎日ペルーの有名な観光地に連れてってくれた。ペルーは少し衛生が悪いがとても多くの自然と歴史ある建造物がたくさんある。行く先々で色々な歴史を聞いた。とくに記憶に残る体験になったのがクスコというペルーで一番有名な街にある空中都市マチュピチュという遺跡がとくに記憶に残っている。歴史がとても深くこのマチュピチュにある技術は今でも再現が難しい技術であるにも限らず大昔にそれが実現できたのが何故なのかいろんな憶測が飛び交っているが未だ謎であると言われている。

他にもたくさんさんの遺跡であったり有名なテーマパークであったりたくさんさんの場所に連れて行ってもらった。ペルーはとてもいい場所でも人々皆明るくラテン系のノリというもののなかに毎日がパーティーみたいにとんちんかん騒いで楽しくとても住み心地がいい。ずっとここにいたいと思うほど僕はこの一か月が楽しかった。

別れの日、生まれて初めて僕は、別れで泣いた。今までも色々卒業式などあったがこんなに感情が昂つたのは初めての経験でした。それほど僕はこの一か月が楽しくかけがいのないものであった。

この一か月は、僕にたくさんさんの経験を体験させてくれた本当に充実した一か月であった。人の温かさを知り、文化を知り、そして、自分を知った。この経験は僕を一回りも二回りもさらに成長するきっかけになりました。最高の一か月、この経験は僕の一生大事な宝物です。



刺激に満ちあふれた初めての海外

派遣先：クロアチア
京都淀 LC 元生 旭

僕にとってはこのYCE研修が初めての海外経験だった。初めての海外では毎日が刺激的だった。他の学友等の海外経験と比しても、YCE事業でしか得られない唯一無二の本当に濃い海外経験を得られたと感じた。幸運にも僕は一軒目の家庭では内陸の都市部にすむ同世代の若い人たちの生活、二軒目では沿岸の郊外にある家族の暮らし、ふたつの異なるタイプの家庭・地域・世代に触れることが出来た。そのおかげでクロアチアに関する広い知識を得ることができた。僕にとって最も印象深かったのは、彼らのグローバル性だった。彼らの殆ど、特に若い世代とは英語で話すことができた。二件目の家庭ではほんの7歳のホストブラザーとも難なく会話ができた。さらに驚くべきことに彼らの多くはドイツ語やイタリア語をも駆使するトライリンガルであった。同世代でも海外経験豊富な人が多くそれぞれの国の国民性などについて実体験をもって知っていた。音楽もフランス、スペイン、ドイツ、日本、韓国など多国籍にわたってわけ隔て無く聞いていた。クロアチアからは幹線道路を行けばスロヴェニアなどの隣国へ行ける。オーストリアまでもバスが出ている。海に囲まれた日本に住む僕からすれば外国と地つながりであるということ、それはとても奇妙な感覚だった。そしてその近さこそが彼らのグローバル性の根源であるのだらうと思った。環境において大きく異なる日本のグローバル化について一考する良い契機となった。



2012 年度冬期 YCE 派遣レポート

異文化と触れ合った20日間

派遣先：マレーシア

長浜 LC 中村 友紀

私は、今回マレーシアに20日ホームステイをさせて頂きました。ホストファミリーとは出発前から何度もメールのやり取りをしていたので、早く会えることを楽しみにしていました。ホストファミリーに会えた時やつとマレーシアに来たという実感が湧きました。

ホストファミリーはとても親切で、私の為に2週間仕事を休んでくれました。家族の仲がとて良く、パパの親戚、ママの親戚、全員と会うことが出来ました。ママの妹家族が住むジョホールのお家では、メイドさんが1人いて家事全般を担っていました。そこで私は、生まれて初めて身分の差というものを感じました。メイドさんにお給仕をしてもらっても一言も声をかけず、まるでいないかの様に扱っていました。私はその様な光景を見て衝撃を受けました。

他にはマラッカ、バトゥケイブ、KLCC、ツインタワー、チャイニーズテンプル、ヒンドゥーテンプル、チャイニーズウェディング、ジャングル、登山などマレーシアの有名な場所に連れて行ってくれました。



私は日本から浴衣を持って行き、ホストシスターに着せてあげました。ホストシスターだけでなく、家族みんなが喜んでくれました。他にも、お抹茶を点てたり、ちらし寿司や卵焼きを作ったり、折り紙をしました。どれに対してもとても興味を持ってくれました。日本文化について興味を持ってくれたことがとても嬉しかったです。



この様な素晴らしい経験をさせて頂いたことに感謝しています。

「大好きイタリア」

派遣先：イタリア

奈良 LC 辻村 琳

イタリアに派遣していただき感じたこと、それはただただ刺激的で楽しく、イタリアを満喫できたということだ。まず最初に私が過ごしたのはシチリア島だった。シチリア島では現地のライオンズクラブの方々にパレルモ、カタニア、タオルミナ、アグリジェント、などシチリアのほぼ全ての主要都市に連れて行ってもらった。また、例会にも出席させて頂きバナー交換や現地のレオクラブと交流することができた。オレンジ色のレンガの建物や大きくそびえたつエトナ山、朝一番の甘くておいしいホットチョコレートとチョコレート入りの大きなクロワッサン、そして島の陽気で人懐っこい人達が大好きだ。次に向かったトリノは、気温や外観もシチリアとはガラッと変わり、

落ち着いた歴史ある都市だと感じた。そして、ホストファミリーやライオンズクラブ会員のご夫妻とは poco poco (少し) なイタリア語会話でコミュニケーションをとることができた。サヴォイアファミリーの素敵なお屋敷や世界で二つしかないエジプト博物館、シネマミュージアムなど沢山連れて行ってもらった。

シチリア島とトリノという対照的な北と南の地域でクリスマスと新年を迎えることができて本当によかったと思う。朝はチョコレートが大好きな甘党のイタリアの生活から始まり、夜は情熱的で刺激的なDISCOも体験することができ、イタリアの文化そのものを感じることができたと思う。そして何より素敵なホストファミリーと過ごすことができ、イタリアが大好きになり、かけがえのない経験になった。



この経験を生かし、これからも積極的に異文化に触れ、視野の広い国際人になりたい。このような貴重な機会を与えて下さったライオンズクラブの皆様誠にありがとうございます。

2012 年度冬期 YCE 派遣レポート

〈マレーシアで感じたこと〉

派遣先：マレーシア
香芝 LC 堀田 なつみ

私は、今回のホームステイを通して、海外の人々とのコミュニケーションの難しさと、しかしそれは決して不可能ではないことを学びました。海外へ行くのは初めてではありませんでしたが、以前行った時は観光旅行が目的だったので、ホームステイという形は今回が初めてでした。出発する前は、3週間という短期間ではあるけれど、これから始まる言葉の違う人々との生活に対して不安と英語が得意な方であることからくるどうにかなるだろうという、どこか楽観的な気持ちと、純粹に海外に対して楽しみな気持ちがありました。実際着いて現地の人達とお話してみると、冒頭の通り困難な部分もあるけれどコミュニケーションをとることができました。

まず、難しさについてです。コミュニケーションにおいて話す能力も大事ですが、聴き取れなければそもそも成立しません。私にはそれが結構なネックとなりました。同じ英語といっても、私達が使う英語とマレーシアの人達が使う英語は発音も違ったりするので聴き取れないことが多々ありました。さらに、聴き取れても次に返す英語の表現がすぐに思い浮かばなかったりもして、まだまだ英語の勉強が足りないな、と痛感しました。

しかし、全くコミュニケーションが取れないわけではありませんでした。実際のところ、英語でのコミュニケーションに文法はほぼ不要といえます。単語さえわかれば通じる場合がほとんどです。さらに、

ホストファミリーを含めた現地の人達が親切だったのも大きいと思いました。私の拙い英語をしつかり聴きとってくれようとするところに、マレーシアの人達の人柄を感じました。

上記のように、マレーシアの人達はとても親切であり、それほど英語が得意でなくともコミュニケーションをとることができる上に、気候の温暖さや観光地の豊富さからも非常にいい国であると感じました。海外に対して不安を抱いている人には、一度是非行ってみてほしいと思う国です。



マレーシア派遣の報告

派遣先：マレーシア
大分 LC 岩崎 玲奈

今回のマレーシアへの3週間の派遣旅行においてホームステイと同じ派遣生同士の交流会を経験し、多くのことを学ぶことができましたので報告します。私のホストファミリーは、ホストファミリー・ホストスターが共に中国系マレー人です。毎日の食事は中国料理と、マレーシア料理をたくさん食べました。又、ホストブラザーが21歳、ホストシスターが私と同じ20歳、下のホストブラザーが16歳と非常に年が近かったのいろいろな若者が行くお店や、観光名所・大きなショッピングモールに連れて行っていたり、朝11時に家を出ると夜中の1時に帰ってくるという毎日過ごし、休む暇もないくらいにクアランプールを満喫しました。その他にも、マレーシアの人たちが毎日のように食べているクワイティアオやフッケンミーと呼ばれるヌードルやドリアンやジャックフルツ、ランブータンといった日本では余り目にすることも食べる機会もない珍しいフルーツをたくさん食べました。又、私が行った時期は、クリスマスとお正月の時期だったのできれいなイルミネーションや夏のように暑い年越しと言う日本ではできない経験をすることができました。私は現在就職し、京都で働いていますが、会社の支社がクアランプールにあります。会社からはせつかく行くのだから支社工場を見学するよう言われ、ホストファミリーに案内していただき無事に支社訪問を果たすことができました。

私が3週間の滞在を通して出会った人たちは、自分の国の伝統文化や歴史をよく勉強して知っているし、自分のことは自分ですという責任感が非常に強い人たちが多く感じました。又、そう感じたと共に自分自身はまだまだ日本文化について知らないことは多いし、見習うべき点がたくさんあると改めて感じさせられました。外から日本を見るという体験から、日本での日常生活に慣れ親しんでいたことがいかに幸せかということに気づくことができました。日本の良さを改めて感じさせられた3週間でした。

この度は、貴重な経験をする機会をいただきました本当にありがとうございます。英語弁論大会からスポンサーとして派遣させていただいた佐伯ライオンズクラブ、3371地区YCE委員会、今回京都でオリエンテーションを受けさせていただいた335-C地区の皆様をはじめ、ホストファミリー、現地のライオンズクラブ、レオクラブ、そして忙しい中にもかかわらず、長期の休みを取らせてくれた会社へも、お世話になった全ての人に感謝します。今回のプログラムで学んだ経験を今後の活動に活かして生きたいと思っています。



＊平成24年みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会＊

◆日 時 2012年10月19日 (金) 13:20～16:00 ◆場 所 京都テルサ「テルサホール」



オープニングでは、京都府警音楽隊・カラーガード隊の演奏が、1時20分より30分ありました。

第1部式典が、2時～3時までであり暴追センター理事長高崎氏より、開会の挨拶が始まり、暴追センター会長・銃器対策推進本部長である京都府知事山田啓二氏が、所用の為欠席で代理出席の京都府副知事山内修一様より、府民、行政、事業者が一体となった暴力団排除をさらに強力に推進していく必要がある旨の挨拶がありました。続いて、京都府警察本部、刑事部長古川様より、暴力団は、社会情勢の変化に応じて巧妙に府民の日常生活や行政にまでも、不当な要求を行い資金獲得するともに組織の維持と拡大を図るため拳銃を使用した殺人事件を引き起こすなど社会にとって大きな脅威となっている現状の挨拶がありました。続いて京都府公安委員久山様、近畿管区警察局長、広域調整部長佐藤様より祝辞を頂きました。次に、表彰に移り暴力団追放功労・近畿ブロック暴力追放功労賞を個人・団体に贈られました。次に、大会宣言を西京暴力追放推進協議会会長菊池潤治様より暴力団追放「三ない運動+1」の推進。

1つ、暴力団を恐れない
1つ、暴力団にお金を出さない
1つ、暴力団を利用しない
プラス、暴力団と交際しない

新たな決意をもって取り組むとともに、拳銃を持つな・持たすな・預かるな「違法銃器の追放」を力強く実践し「安全で安心に暮らせる京都」の実現に向けて府民が一体となって邁進することを力強く宣言されました。

10分間の休憩後、第2部記念講演が3時10分より4時まで、講師に「被害者支援センター」とちぎ」のボランティア相談員の被害者遺族小佐々冽子様より演題「事件から続く家庭の苦しみ」～鹿沼市職員殺害事件か～ご主人が帰宅途中で暴力団関係者に拉致された。行政対象暴力が、社会的に注目されるようになったきっかけの事件で、現在相談員として犯罪被害者やご遺族の方に対する電話相談等の支援活動の講演を拝聴しました。涙がとまらなく、悔しさが残りました。小佐々様の今後ご活躍を祈念申し上げます。

短い時間でしたが、府民、行政一体となって「三ない運動+1」の推進が必要である思いを自覚して大会が終了となりました。

地区キャビネット運営委員 飯田 謙二

＊大学生対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座＊



第3回「大学生対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が、2012年10月20日(土) 15:00より18:00まで、京都府健康福祉部薬務課、ライオンズクラブ国際協会335-C地区、公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターの3団体が主体となり、龍谷大学 深草キャンパスに於いて開催されました。

受講生としては、京都大学・立命館大学・龍谷大学・京都外国語大学等の大学生及び京都の専門学校生の92名が受講し、335-C地区より地区ガバナー・南清右衛門、第1副地区ガバナー・児玉保次、第2副地区ガバナー・森井士朗、地区YCE・レオ・青少年指導委員会、京都府健康福祉部薬務課より薬務課長・原田克也様、また講師として京都府警察本部刑事犯罪対策第三課指導係長・辻健様、京都府健康福祉部薬務課副主査・中川拓也様、京都府翔英高等学校副校長(名誉顧問会議長・前地区ガバナー)・足達靖彦様の講義につき、専門講座「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」を(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長・阿部俊三様の講義まで3時間に及ぶ講義を受講された。

最後に地区YCE・レオ・青少年指導委員長・木下昌平より、薬物乱用防止認定講師の資格を持った大学生が今後活躍してくれる事を願い、本日出席された学生たちと、講師で来て頂いた関係各位、またライオンズクラブの方々には感謝を述べられ閉講の挨拶をしました。

地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 上中 智成

次の専門講座「行政事情1」薬物乱用の実態・捜査現場の状況など」を京都府警察本部刑事犯罪対策第三課指導係長・辻健様から捜査の状況と取締の難しさを訴えられ、休憩をはさんで専門講座「行政事情2」京都府における薬物乱用対策について」を京都府健康福祉部薬務課副主査・中川拓也様の講義を受け、専門講座「行政事情3」教育現場より」を京都府翔英高等学校副校長(名誉顧問会議長・前地区ガバナー)・足達靖彦様の講義につき、専門講座「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」を(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長・阿部俊三様の講義まで3時間に及ぶ講義を受講された。

＊ ケイ・K・フクシマ元国際会長を迎えてメンバーシップセミナー ＊

茨木ライオンズクラブ様は、チャーターナイト50周年を挙行されるにあたり、335複合地区にとって馴染みの深いケイ・K・フクシマ元国際会長を招聘され、盛大に開催されました。

そこでケイ・K・フクシマ元国際会長が来阪される機会に、会員増強セミナー“

開催について奥村啓二協議会議長より、複合地区GMT委員会にご提案があり、第一回ガバナー協議会以後、10月31日の開催に向けて準備を進めてまいりました。4準地区のガバナー各位ならびに会員のご協力により、当初の目標に充足した44名のご登録を頂き、京都ホテルオークラで盛大に開催することができました。

当日は、14時からスタートし、高野文男A地区ガバナーによる開会の辞、奥村啓二協議会議長ご挨拶、その後前座として、足達靖彦複合地区GMTコーディネーターより、各準地区の現状および活動状況、また4月1日に開催された日本ライオンズ・メンバーシップ・セミナーで配布された国際本部の資料を映像化し、プレゼンテーションを交えながら、模索する会員増強をどのように取り組むべきか呈出されました。

その後、ケイ・K・フクシマ元国際会長による基調講演があり、まず東京ライオンズクラブが誕生して以来60年が経過し、日本の国情が変化しているにもかかわらず日本ライオンズは、時代の流れに即した変化に欠けているのではないだろうか。日本ライオンズに元気になって欲しい。そのためには、クラブの活性化を図り会員増強策を講じなければならない。その一案として若い会員や女性会員の増強、各クラブの抱えている問題点やクラブ支部設立等の勉強会およびワークショップの実施等を強く提唱されました。特に若い会員増強には、若い会員主体とする、新クラブ結成も良策であるとのこと提案も賜りました。



セミナー閉会にあたり瀧北美智子D地区ガバナーよりケイ・K・フクシマ元国際会長ご夫妻に記念品贈呈、菅 春水B地区ガバナーより閉会の辞があり、有意義なセミナーを終えることができました。

セミナー後、会場を移し懇親会を開催いたしました。冒頭、祝舞や京都学生レオクラブのメンバーによる少林寺拳法の演武披露、南 清右衛門C地区ガバナーによる開宴の辞、そして亀井良治元国際理事のご挨拶ならびに乾杯により開宴となりました。ケイ・K・フクシマ元国際会長は、体調不良によりセミナーから終始車椅子の移動でしたが、懇親会も乾杯までのご出席となりました。懇親会にケイ・K・フクシマ元国際会長がご出席頂けないのは誠に残念でしたが、出席者間の懇親の場としてまたとない機会となりました。閉宴にあたり瀧北美智子D地区ガバナーより閉宴の辞があり、名残はつきませんが懇親会を終えました。335複合地区の皆様にご心より御礼申し上げます。

ケイ・K・フクシマ元国際会長ご夫妻には、11月2日の午前中まで京都にお留まり頂きごゆっくりとお寛ぎのうえご帰国頂きました。



しかし、体調不良でいらつしたので、お体をご自愛されますようご祈念申し上げておりましたが、12月1日にご逝去(11月30日)の訃報を賜り唖然とし一瞬言葉の出ない状況でした。日本ライオンズを憂い体調不良にもかかわらずご講演を賜りましたことに深く感謝申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



2012年12月
335複合地区GMT委員会

＊平成24年度 きょうと薬物乱用防止行動府民会議総会＊

－麻薬・覚せい剤乱用防止運動京都大会－

11月4日（日）午後2時より、京都産業会館8階シルクホールにおいて、「平成24年度きょうと薬物乱用防止行動府民会議総会ー麻薬・覚せい剤乱用防止運動京都大会ー」が開催されました。

ライオンズクラブ国際協会335-C地区では、地区ガバナール南清右衛門に来賓としてご登壇していただき、地区役員、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、幹事、担当委員長をはじめ多くのライオンズメンバーに参加していただきました。

「きょうと薬物乱用防止行動府民会議」は、京都府民、特に青少年の薬物乱用ゼロを目指して、関係機関やライオンズクラブを初めとする関係団体等が協力・協働して、薬物乱用防止に係る啓発活動、情報交換などを実施し、京都府民一人ひとりの薬物乱用に対する認識を高めることを目的として設立されました。

開会にあたり、まず、三井辨雄厚生労働大臣からの挨拶が代読され、続いて府民会議の代表である山田啓二京都府知事より「最近の薬物乱用事犯にたいへん憂慮している。未来を担う青少年やその家族や友人の未来を狂わせることはあってはならない。薬物乱用防止にはオール京都で取り組み、京都から薬物乱用者がなくなることに期待する」と挨拶。続いて門川大作京都市長より「薬物乱用防止には京都市でも京都府と連携して行っている。若者は何事にも恐れず、挑戦していくことが大事である。ダメなものは断る勇氣をもって自分自身や家族の将来を守っていくことが大事である」と挨拶がありました。

続いて、感謝状贈呈が行われ、長年にわたり薬物乱用防止にご尽力され特にご功績のあった方々に感謝状が贈呈されました。受賞者は次の通り。

厚生労働大臣感謝状
八尾 佳寛 様
厚生労働省医薬食品局長感謝状
奥井三喜男 様
煙 忠夫 様

次に、京都府薬物乱用防止指導員の委嘱式が行われ、各学校における自主的な取り組みを進めるために、今回新たに16名の大学等関係者を指導員に委嘱することとなり、京都府では53校89名の方々が指導員として活動されることとなりました。

式典が終了し、続いて厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課 池田大輔氏による「薬物乱用の現状と対策」について講演がありました。特に最近問題になっている違法ドラッグ、いわゆる脱法ドラッグについて、

厚生労働省では包括指定に向けた法改正に取り組んでいることが報告されました。

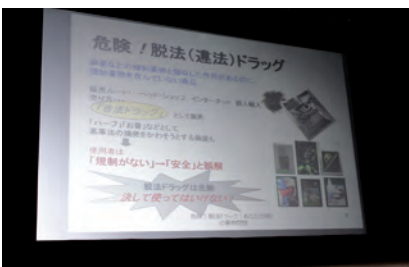
また、基調講演では、弁護士 小森榮氏による「危険！脱法ドラッグ！あなたの周りの薬物問題ー若者を取り巻く薬物乱用の現状ー」と題して、薬物乱用により検挙された事件に携わる弁護士の立場から、どうして薬物を乱用するようになったかなど、その背景について、現場でのたいへん有益なお話を聞くことができました。講演後には、会場からの質問時間もあり、今後の活動にたいへん参考になりました。

講演会後は、大学生によるアトラクションが披露され、今年は京炎そでふれ！普及チームによる「京炎そでふれ！」の踊りが披露されました。京炎そでふれ！普及チームは京都の大学生を中心に、京都の伝統文化や伝統芸能を取り入れた新しい踊りとしてすでに各地で活躍されています。ステージ狭しと飛び跳ねる若者の姿に感動しました。

最後に、薬物乱用防止教育認定講師の資格を持ち、大学内で独自の薬物乱用防止活動を積極的に行っている、京都外国語大学薬物乱用防止委員会（ドラスタ）の会長で、京都学生レオクラブ所属のLeo西村宗生が「NO DRUGS KYOTO 12」宣言を迫力満点で行い閉会しました。

今年度も府民会議総会の開催、運営にあたりご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝の意を申し上げます。

地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 吉田 和之



* 第 25 回国際平和ポスターコンテスト *

京都展

平成24年11月11日（日） 京都日図会館にて 記念すべき 第25回国際平和ポスターコンテストが開催されました。

午前9時に委員会メンバーが集合、前日の10日（土）にも 事前準備で、12時の2時間全員でポスターを展示 展示準備には 京都南ライオンズクラブのメンバー6名も助っ人として協力戴き、予定より早く準備できました。この場をお借りして お礼申し上げます。感謝

展示会当日は 朝から 雨が降り 肌寒い一日となりました。 午前10時の開会式では 地区PR情報IT委員会 松岡 勲委員長の開会宣言 引き続き 今年度の応募状況他説明がなされ、第一副地区ガバナー、ゾーンチェアパーソン 7名、松岡勲委員長のテープカットが行われいよいよ京都展示会オープンとなりました。

展示会場は 秋雨の中 多くの来場者を迎え 会場内は 作品提供してくれた 児童の皆さん、保護者の皆さんで 賑々しく笑顔と、歓声、活気ある素晴らしい 会場となりました。 世界平和を祈る子供達、これからの日本の将来を担う子供達の大切な思い出となる一日であったと思います。 午後の4時に展示会を終える事になりましたが、閉会時間ぎりぎり迄会場には 多くの来場者が（御爺ちゃん、御婆ちゃん、お父さん、お母さん、兄弟、姉妹） この素晴らしいコンテストが今後も永遠に続く事を願い 京都展示会を閉会致しました。

地区PR・情報・IT委員長 松岡 勲



滋賀展

京都会場に続いて11月23日滋賀県会場で展示会が、彦根市・ビバシティ彦根で開催された。

当日は午前8時から地元の彦根ライオンズクラブ会長L青山金吾をはじめ同クラブ会員多数が集まり、地区PR・情報・IT委員会のメンバーと共に準備作業を行った。

午前10時、会場の開店時刻に合わせて正面玄関入口のウェルカムプラザホールで地区副委員長L中野幸彦（彦根ライオンズクラブ所属）の司会で開会セレモニーが行われた。

先づ、地区PR・情報・IT委員長L松岡勲から本展示会の概要等の説明があり、続いて地区ガバナーL南清右衛門が挨拶を行った。

次にテープカットに移った。地区ガバナーL南、第一副地区ガバナーL児玉保次をはじめ地区役員の皆さん8名に依ってテープが切られて展示会の開始となった。

当日は勤労感謝の日の祝日とあって、親子、家族連れの参観者が多く終日、賑わいを見せ1100名を超える盛況を呈した。

本会場での当日の展示は、ガバナー賞3点を始め、努力賞までの入賞作品51点と滋賀県6リジョンから37点、7リジョンから52点が展示された。

地区PR・情報・IT副委員長 中野 幸彦



奈良展

紅葉も見頃の奈良公園内にある奈良県文化会館（特別展示室）に於いて、第25回国際平和ポスターコンテスト奈良会場の展示会が、晴天のもと開催されました。

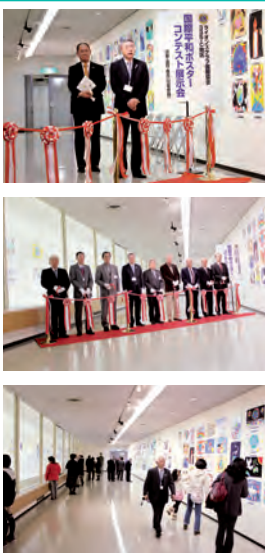
地区からは、第2副地区ガバナーL森井を初め、地区キャビネット幹事L辻、地区キャビネット会計L中川、地区担当委員長・副委員長、又地元奈良からも、各ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、役員、担当委員長等、多数ご出席をいただきました。

担当委員長L松岡からは、コンテストの主旨説明、L森井からは開会のご挨拶をいただき各代表によるテープカット等、盛大にオープンセレモニーが行われました。

奈良会場での展示は、地区で選ばれた優秀作品51点、各クラブから選ばれた100点が展示され、作品を出品された親子、友達と来たという小学生、孫が入選したという婦人、生徒が出品したという参加校の先生等々、380名の来場者があり、午後4時無事終了することができました。

ご協力いただきました各クラブの皆様方に、改めて御礼と感謝を申し上げます。

地区PR・情報・IT副委員長 染川 尚



第2回キャビネット会議

◆日時 2012年11月21日(水) ◆場所 リーガロイヤルホテル京都



順風満帆の出航の「南丸」でしたが、南ガバナの病氣加療により「すわっ!座礁!」も危ぶまれた時期もありましたが、奇跡的なガバナの回復により、順調にリーガロイヤルホテル京都にて第2回キャビネット会議が開催できました。

地区ガバナ 南清右衛門による開会のゴングの後、地区キャビネット幹事 辻徹郎の司会のもと、次第に則り会議が進行されました。まず、地区ガバナ 南清右衛門から第51回OSEALフォーラム福岡に多くの地区メンバーが参加していただいたお礼と体調を崩し入院中に迷惑をかけたお詫びがあり、公式訪問に欠席の間も第1、第2副地区ガバナを始めガバナチームとゾーン・チェアパーソンのご協力により公式訪問を無事終了できたことへのお礼の挨拶がありました。

引き続き、名誉顧問会議長・前地区ガバナ 足達靖彦のご挨拶をいただき、その後2011〜2012年度地区ガバナ 足達靖彦に感謝状が贈呈されました。

2011〜2012年度地区ガバナ 足達靖彦に感謝状が贈呈されました。

さて、会議は配布資料確認後、会則により地区ガバナ 南清右衛門が議長に選出され、議事録署名人に5R3Zゾーン・チェアパーソン 茶谷昌史と6R1Zゾーン・チェアパーソン 越智則夫が議長より指名されました。

続いて16項目の報告事項があり、4R2Z京都あさひLC解散届についてなどの報告がありました。

次に審議事項に入り、第1号議案2011〜2012年度地区決算報告書・監査報告書並びに引き継ぎ書類の件について、前年度地区キャビネット会計 林富彦より会計報告の説明がなされ、前年度地区監査委員 川村昭三より監査報告があり、次年度キャビネット準備金について質疑応答があり承認されました。

その後、第2号議案である2013〜2014年度地区ガバナ候補者に、第1副地区ガバナ 児玉保次、また第3号議案の2013〜2014年度第1副地区ガバナ候補者に第2副地区ガバナ 森井士朗の両議案が承認されました。

第4号議案では、地区年次大会委員長 南英三より第59回地区年次大会の経過報告と、大会の統一テーマ「Atsui 熱き心 厚い心 篤き心」が発表され、地区ガバナ 南清右衛門よりテーマの意味が紹介されました。

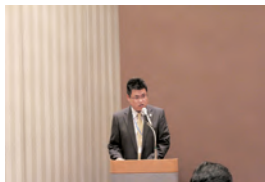
引き続き第5号議案として、ハリケーン・サンディ災害支援協力依頼について、12月末の会員数をもとに@2000円を緊急援助資金より充当するとの説明があり、承認されました。

報告事項並びに審議事項の後、各ゾーン・チェアパーソン、各地区委員長から現況を含めた報告があり、委員会の活発な活動が垣間見えました。

最後に、閉会にあたり第1副地区ガバナ 児玉保次より「公式訪問が終わったこれから各クラブが充実した活動を行える時期でもあり、各委員長の要望も実行に移していただきたい」との挨拶があり、地区ガバナ 南清右衛門の閉会ゴングにより、第2回キャビネット会議は、熱心な討議で滞りなく無事終了いたしました。

地区キャビネット運営委員長 林 繁

ライオンズクラブ対象 薬物乱用防止教育認定講師養成講座



2012年11月27日(火) 13:30〜16:30、リーガロイヤルホテル京都において、公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターとライオンズクラブ国際協会335-C地区の共催によるライオンズクラブメンバーを対象とした「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が46名の出席を得て盛大に開催されました。

本講座は、受講者を薬物乱用防止教育認定講師として自ら学校へ出向き、薬物乱用防止教室を開催することにより、薬物乱用から青少年を守り、健全育成をはかることを目的としたものです。

開講式では、地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 吉田和之の司会のもと、335-C地区ガバナ 南清右衛門から「近年、若年層にまで広がっている薬物汚染が大きな社会問題となっている。将来の日本を担う青少年が薬物の魔の手に染まらないよう、ライオンズメンバーにこの講座を通じて薬物乱用防止の知識を深めてほしい」とご挨拶いただきました。

また、来賓挨拶として、京都府健康福祉部薬務課長 原田克也様より現在の薬物乱用の実態と、それに対しての未然防止対策の推進状況を説明いただきました。

講座では、ビデオ講座「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止教育ビデオの視聴につづき、基礎講座「医学知識」「薬物乱用と身体への影響」「DVDの視聴を行いました。

専門講座に移り「行政事情1〜4」として「薬物事犯・ドラッグの現状」「京都府の薬物乱用防止対策について」「教育現場より」「ライオンズクラブ国際協会における薬物乱用防止活動の実践」の4講座が、日ごろ薬物乱用防止活動に携わる方々より講義を頂きました。

本講座を通じ薬物乱用防止教育認定講師としての目的を理解し、多岐にわたる知識を習得していただけたことと存じます。

最後に閉講式では、地区YCE・レオ・青少年指導委員長 長木下昌平より「青少年の健全育成をアクティビティの柱の一つとしているライオンズクラブの使命として、今後関係団体と連携して薬物乱用防止に取り組んでいきたい」との力強いメッセージがあり、本講座が終了いたしました。

地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 小橋 康一

2012 年度冬期 YCE 派遣学生歓送会

2012年12月9日、「2012年度冬期YCE派遣学生歓送会」がリーガロイヤルホテル京都で開催されました。

南地区ガバナー、児玉第1副地区ガバナー、はじめ2012〜2013年度地区役員、2012〜2013年度地区YCE・レオ・青少年指導委員会、そして保護者の方々やスポンサークラブの皆様など多くのご参加のもと開催されました。

9月のYCE派遣生選考試験から始まり、計5回のオリエンテーションをへて鮮やかなブルージャケットに袖を通した派遣生はとても凛々しく、希望に満ちた目をしていました。

今回の派遣学生は、当地区でオリエンテーションに参加した3371B地区の1名を含め、男子2名・女子4名の計6名で、ペルー・クロアチア・イタリア・マレーシアへの派遣となりました。

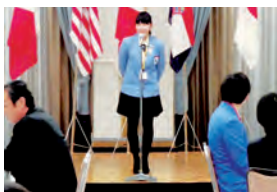
歓送会では、最初に地区YCE・レオ・青少年指導委員長L木下から「それぞれの派遣先の国のライオンズメンバーのご家族を第二の家族と思えるような触れ合いをして来てください。そして、日本のライオンズクラブの大使として日本をPRしてきてください。」との挨拶があり、南方バナーからは「今回の留学体験を通じて、国際感覚を持った人間に成長してください。みなさんの心の財産を増やしてください。」と激励の言葉がありました。

南地区ガバナー、地区委員会からの派遣生へのプレゼントの贈呈の後、児玉第1副地区ガバナーの乾杯の発声でランチに移りました。

ランチタイム中で派遣学生のスピーチがあり、「日本のYCE留学生として、積極的に国際交流を行い、色々なことを吸収していきます。」と力強い決意を聞かせてくれました。

最後に、辻地区キャビネット幹事が閉会の挨拶を述べられ終始和やかな雰囲気での歓送会を終了いたしました。

地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 小橋 康一



2012 年度冬期 YCE 来日学生歓迎会

12月21日、リーガロイヤルホテル京都において「2012年度冬期YCE来日学生歓迎会」が、ニュージーランド、マレーシアから3名、シンガポールから計5名の来日学生を迎え開催されました。

南地区ガバナー、森井第2副地区ガバナー、辻地区キャビネット幹事、中川地区キャビネット会計をはじめ、ホストファミリーならびにホストクラブの皆様にも多数ご参加いただき、盛大に執り行われました。

はじめに南地区ガバナーより「ホストファミリーには年末、年始の忙しい中、受け入れを引受けて下さり、またYCE事業に大変ご理解をいただきましてありがとうございます。来日学生はホストクラブの方々と交流を深め、日本のいい文化を深く理解して下さい。そして日本のいい文化と楽しい思い出を国々へ持って帰っていただき、日本のよさを広めて下さい。そして若きニューリーダーになれることを期待しています。」と挨拶がありました。

次に、地区YCE・レオ・青少年指導委員長L木下より「南方バナー主催の歓迎会にホストクラブ・ホストファミリーの多数のご参加をいただき、誠にありがとうございます。来日学生の皆様には日本人の心を学んで帰ってほしい。」と挨拶がありました。

引き続き、南地区ガバナーと来日学生との間でプレゼントの交換が行われた後、森井第2副地区ガバナーの乾杯のご発声で会食に移りました。途中、5名の来日学生によるスピーチが行われ、それぞれホストファミリーへの感謝の気持ちや日本で学びたい事などを一生懸命、日本語で話して頂きました。

最後に、地区YCE・レオ・青少年副委員長L伊谷が閉会の挨拶を述べられ、終始楽しく和やかな雰囲気の下、歓迎会は閉会となりました。

地区YCE・レオ・青少年指導副委員長 平塚 一利



335 複合地区 LCIF セミナー開催



平成25年1月26日(土) 神戸ポートピアホテルに於いて335複合地区 LCIF セミナーが、335複合地区ガバナー協議会議長L奥村啓二、元国際理事L亀井良次、335複合地区ガバナー協議会幹事L菅 春水、335複合地区ガバナー協議会会計L瀧北美智子、335複合地区 LCIF 委員長L新宅元之をお迎えし、複合地区内239クラブ340名の会員の皆様にご出席頂き開催されました。

当地区より第1副地区ガバナーL児玉保次、第2副地区ガバナーL森井士朗、地区幹事L辻 徹郎、地区会計L中川知博はじめ43名の参加を頂きました。

335複合地区 LCIF 委員長L新宅元之の開会挨拶の後、335複合地区ガバナー協議会議長L奥村啓二から LCIF プログラムを説明され、東北大震災の義援金は昨年12月現在で16億円を332-B・332-C・332-D地区の岩手、宮城、福島の3県に交付されたとの報告がありました。

また、会員1人当たり20\$ 献金について、335-C地区では、地区年次大会決議により地区内全クラブの取り組みを報告され、地区内全会員が拠出する事に意義があると力説されました。

引き続き元国際理事L亀井良次からご挨拶の後、LCIF 献金の準地区上位3位のクラブ並びに個人(2012年7月~11月累計)に感謝状が贈呈されました。

なお、贈呈クラブ並びに個人は下記の通りです。

335-A地区(神戸長田LC・宝塚王仁LC・神戸須磨LC)

335-B地区(茨木LC・和歌山東LC・八尾LC)

335-C地区(京都東LC・近江八幡LC・橿原LC)

335-D地区(L岸本康子・L有野 勇・姫路中央LC)

また、当地区の京都東LCには特別表彰としてMJF200%達成クラブのイエローフラッグを LCIF 開発MDコーディネーターL新宅元之が会場後方からフラッグを披露し入場され、335複合地区ガバナー協議会議長L奥村啓二から京都東LC野口会長、土井幹事に手渡され、3月25日結成50周年記念式典を挙行される野口会長が決意を述べられ贈呈式は終了しました。

引き続き LCIF 資金課課長L田辺憲雄を講師にお迎えし LCIF の組織について、その構成は理事会、執行委員会、視力ファースト委員会、ステアリング委員会が諮問委員の機能を果たしており、献金を運用し運営費に充て残高は翌年の投資に活用されているとの報告を受けました。次に LCIF における7種類交付金の説明を受け、335複合地区内に於きましても周年記念事業等に積極的に交付金の活用をお願いしたいとの事でした。

このように LCIF 献金システム並びに LCIF 交付金等についてのセミナーを拝聴し、LCIF プログラムの重要性を再確認し、心新たにセミナーを終了しました。

最後に当日の収支差額と受付に設置しましたチャリティーボックスの収益をL田辺憲雄に LCIF 献金としてお渡し致しました事をご報告いたします。

なお、335-C地区の受付を担当頂きました水田副委員長、奥村副委員長並びに地区よりご参加頂きました会員の皆様に心より感謝申し上げます。

地区 LCIF・視力ファースト・献金推進委員長 中井 正紀

近畿ブロック血液センター見学セミナー

去る1月28日(月)、ライオンズクラブ国際協会335-C地区献血・聴覚障害者福祉委員会では、献血に対してより一層理解を深めて戴く事を目的に、茨木市彩都にあります「近畿ブロック血液センター」の見学と、河敬世センター所長の講演を聞く会を催行致しました。

参加者は、JR京都駅からチャーターバスで32名と現地直行された22名の総勢54名でした。現地では、同センターの職員のみならず、京都・滋賀・奈良の各血液センターの推進課の方々が我々の訪問に対しお世話を戴きました。

昨年4月から運用を開始した最新鋭の「近畿ブロック血液センター」は広々とした敷地に建てられた清潔感溢れる素晴らしい施設でした。このセンターを建設した目的の大きな柱は、献血された血液を極力無駄を出さない為に一元管理をする為と、最新の設備で最高の品質の製品を供給する為であり、効率よく製造され配送されていることが理解できました。

このセンターでは午前9時から午後9時まで1日およそ1800人から2300人の人々から献血された血液を迅速に生成しています。管轄地域は大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山・兵庫(一部を除く)の6府県であるとのことでした。

河所長は講演のなかで、少子化と高齢者増加の影響で将来、深刻な血液不足が予測されると話されており、学校での教育も含め啓蒙活動の必要性を説いておられました。

また、血液は怪我や手術による出血に対応するに留まらず、白血病やHIV等の難病に対して臍帯血や骨髄などを含め最先端の医療に寄与する為努力しているとのことでありました。

我々ライオンズクラブの大きなアクティビティの一つである献血活動の重要性を再認識できた1日となったと思います。

地区献血・聴覚障害者福祉副委員長 岸本 吉博



「初めてのウェブ会議体験!!」

2013年2月7日(木) 335-C地区キャビネット事務局におきまして、「第4回335複合地区IT委員会」がウェブ会議にて行われました。

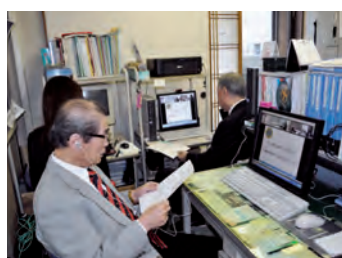
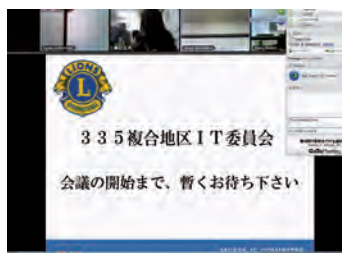
各地区ガバナー、L高野文男(335A)・L管春水(335B)・L瀧北美智子(335D)・そして我がC地区からは335複合地区ガバナー協議会議長のL奥村啓二・335C第2副地区ガバナーL森井士朗、そして複合地区IT委員の6名をあわせて総勢11名の参加となりました。

今回は「Go To Meeting」というシステムを使用しましたが、同システムを導入することで、会議旅費・交通時間の大幅な削減が期待でき、手頃な価格の機器の取付けで実施可能です。会議が始まるちょっと前に、職場なり自宅なりのパソコンの前に座るだけで会議が始められるのですから、なんとも画期的ですよ。

各出席者の接続環境もそれぞれ異なるため、聞こえにくい・音声が重複してしまう等の障害はありましたが、L奥村もL森井もスムーズに発言され、大変興味をお持ちになられた様子で無事会議は終了致しました。

今後、地区HPでもご紹介し、実施してみたいというクラブ・委員会がございましたら全面的にサポートして参りたいと思いますのでご検討くださいますよう、よろしく願います。

地区PR・情報・IT副委員長 藤田 弘美





ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区

*アイバンク愛の光基金管理会アイバンク例会近況 (ご依頼により講師派遣) *

今期は1月末日現在、15クラブから依頼をいただき順次訪問しています。その一部をご紹介します。

京都洛東 LC

2012年8月28日 常任理事 岡村 健

アイバンク例会に訪問して「角膜移植」「その歴史とアイバンク」「愛の光基金」「献眼登録と献眼」について40分もお話ししました。現在、目に障害をお持ちで角膜移植手術で光を取り戻せる待機者が全国で3000人、献眼者は年間1100人です。管理会は献眼登録と献眼へのご理解を訴える中で、登録者ご本人と配偶者・ご家族のご理解を深めて頂くことをお願いしています。登録者が家族に知らせておられず献眼に至らなかった例があるからです。期待される再生医療技術の iPS 細胞による角膜移植の実現にはまだ時間がかかり、まだまだ善意の角膜提供が必要であることをお話ししました。ご清聴頂きありがとうございました。

京都桂 LC

2012年11月1日 専務理事 黒川良三

クラブメンバーの皆様の歓迎を受け30分程、現在のアイバンクの献眼登録と献眼の現状を報告して、アイバンク事業が非常に難しい事業であることをお話ししました。中でも335-C地区内に支援して頂いている4つのアイバンクに於いて、最も重要なアイバンクコーディネーターの不足が事業を難しくしている原因の一つであることを説明しました。クラブの方々も真剣にお聞き頂き、多くの質問をされ、アイバンク事業の重要性を認識したとお話を聞き、訪問して本当に良かったとの実感が湧きました。2013年もアイバンクコーディネーターの重要性をライオンズクラブの皆様にご支援を賜りたいと思います。

近江八幡 LC

2012年11月1日 副理事長 宇田洋三

今回は、滋賀県アイバンクの橋本臓器移植コーディネーターとで訪問しました。私自身のアイバンク活動との出会い、管理会の支援活動、献眼の現状など基本的なこと全般をお話ししました。橋本コーディネーターからは、滋賀県アイバンクの献眼状況や登録方法、実際の献眼の流れ、提供して下さった家族の思いを伝えて、この機会に献眼についてご家族と話し合って頂きたいと話されました。会場からは、「提供後の義眼、見た目について」「ドナカードに記載し、家族にも伝えている。献眼の提供時間などは理解したが、他の臓器についても同じか」といった内容の質問を頂きました。

八日市 LC

2012年12月4日 副理事長 安田弘子

熱心に献眼登録に取り組むアイバンク例会も4回目のクラブです。そこで、献眼登録はお願いしたりされたりするのではなく、「家族みんなで考えて角膜提供につなげてほしい」との思いで我が家の例を話しました。夫婦で献眼登録したとき、子供たちは可哀相だと反対でしたが、後に癌で余命少なくなった夫が「灰になる前に角膜提供すれば角膜疾患の人を救えるよ」と言いますと長女が「ああ、角膜はリサイクル出来るんや」と納得してくれました。今も私は夫がこの世に存在していると思い安堵感に包まれることをメンバーの方に聞いて頂きました。



京都洛東 LC



京都桂 LC



近江八幡 LC



八日市 LC

多額のご寄附を頂きありがとうございました

クラブ (敬称略)

合計 2,106,532 円

<2012.10.1 ~ 12.31>

京都東	1,000,000 円	台北市東南獅子会	500,000 円	京都平安	200,000 円
京都西	200,000 円	京都南	100,000 円	亀岡保津川	50,000 円
6R・7R 合同アクティビティ	24,000 円	八日市	17,500 円	京都桂	15,032 円



クラブ便り

京都桃山LC

野球同好会結成

京都桃山ライオンズクラブでは、メンバーの親睦と健康増進を目的として9月に野球同好会が結成されました。

9月15日（土）に野球同好会発起会を開き、チーム名・役員や入会金などの意見交換を行い、チーム名は「桃山ライオン」に決まりました。

クラブメンバーに入会を募ったところ、現役の社会人野球をしているメンバー他、少年野球経験者や未経験者を含め28名もの入会希望があり、早速ユニホーム採寸をし現在ユニホームが出来るのを楽しみに待っているところです。

11月10日（土）には発足式を行い、メンバーの、より一層の親睦と結束を深めたいと思います。

現在はクラブメンバーのご好意により、知人のグラウンドをお借りして練習をしておりますが、来年の春以降は市営のグラウンドを借りて定期的に練習をする予定です。

他クラブで野球同好会がございましたら、合同練習や試合などを行いたいと思っておりますので、ぜひ京都桃山ライオンズクラブへご連絡いただければと思います。

京都桃山ライオンズクラブ PR・情報・IT委員長 栗林 勉



京都天神川LC

「東日本大震災被災者支援アクティビティ」開催

平成24年10月14日（日）京都市下京区の梅小路公園で、市内に避難されている東日本大震災の被災者をご招待して「東日本大震災被災者支援アクティビティ」を行いました。

すがすがしい晴天の中、1日ゆつくりと梅小路公園で楽しんでいただきました。

「梅小路公園に桜の通り抜けを作ろう」の記念事業から12年、植樹、土壌改良、植花活動を行ってきましたが、今年は、京都市内に避難されている方々を支援するため企画しました。市を通じて287世帯740名に案内を出して72世帯240名が参加されました。

朝9時からの植花に始まりお昼にはお弁当を食べていただき、京都水族館、梅小路蒸気機関車館、いのちの森と1日ご自由に散策されました。福島県から避難されている方からは「今日は、ご招待いただいて本当にありがとうございました。ご参加された中には、いまだに家族と離れ離れの生活をされていたり、時間が経つにつれて辛い思いがつのつておられる方、また被災者のためにNPO法人を立ち上げ活動されている方などのお話を直接伺いし、真の復興とは何かを改めて考えさせられ、それこそ我々のなげない日常のありがたさを改めて再認識しました。

当日は、お忙しい中、門川京都市長、335C地区第一副地区ガバナー児玉、地区PR・情報・IT委員長し松岡も出席いただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

会長 丸山 郁二



※集合写真は、門川市長オフィシャルサイト「活動日記」（10月14日記事）よりお借りいたしました。

クラブ便り

京都洛陽LC

京都洛陽ライオンズクラブ金毛茶会

本年も11月9日朝9時より、東本願寺別邸渉成園（釈穀邸）にて金毛茶会を実施いたしました。

この金毛茶会は、当クラブが1971年より継続して実施している事業で本年も500名近くの方々に参加して頂きました。本席、呈茶席、香席、そば席、展観席などが設けられ当クラブメンバーが各所に分かれお手伝いいたしました。

参加者の皆さんはお茶席でお薄を頂き、香席ではお香の薫りを楽しみ、回遊式庭園を愛で、秋の1日を日常の喧噪を忘れゆくり過して頂きました。また、大谷高校の高校生や京都大学茶の湯研究会の学生もご招待し日本の伝統文化に触れて頂きました。

お手伝い頂きました各方面の皆様方に感謝申し上げますと共に、ご参加頂きました他クラブメンバーの皆様にも御礼申し上げます。

京都洛陽ライオンズクラブ 幹事 澤田 道男



栗東LC

“いちようまつり”例会

去る10月8日栗東市において恒例の“いちようまつり”が市役所前をメイン会場として盛大に開催されました。厳しかった残暑も彼岸を境に朝夕涼しさが感じられ、まつり当日は爽やかな秋空の晴天に恵まれました。この“いちようまつり”は栗東商工会が主催、町おこしの一環として開催され、それを市役所前のいちよう通り面に面した商店街が協賛して行われます。又、市役所前の広場にはプラスバンドコンサートや和太鼓演奏やダンス等のアトラクションもまつりを盛り上げます。

我が栗東ライオンズクラブも第三事業委員会事業として毎年参加致しております。当クラブは模擬店出店と献血及び骨髄ドナー登録への啓発を行いました。模擬店の一つは当クラブのメインイベントとしてメンバーである本職のし南井指導のもと餅つきが大きな掛け声と共に披露され、来客の大きな注目を集めました。本場江州米のつきたての餅に餡、きな粉、のり醤油と好みの味に依じて一皿3個200円で販売、大変好評を頂きました。

又、会員が手塩にかけて育てたさつま芋は焼き芋3本200円でフライドポテトは1カップ100円で販売、美味しさのうへこの低価格で飛ぶように売れました。10時の開店から14時には完売すると言う好成绩を収める事が出来ました。

骨髄ドナー登録への啓発には14名の方の登録を頂きました。献血には35名13,200?と御協力を頂き大変感謝致しております。

この商業まつりに参加し感じたのは何よりも地域の人々との交流を深める事が出来、又 栗東ライオンズクラブのアクティビティをご理解頂く大変良き機会であったと思います。それに地域の皆様方の喜びの顔に我々も改めて奉仕の喜びを感じた1日でもありました。

又、我々の活動によって少しでも町おこしの一助に成る事を心より願う次第です。

尚、当日8日は“世界ライオンズデー”にあたります。本年度我が栗東ライオンズクラブの寺本会長の方針は、奉仕活動を通じて地域との絆を、掲げておられます。そのスローガン通り寺本会長の熱い願いを達成する事が出来た最高のアクティビティ例会でした。

第三副会長 安藤 玲子



その他の活動

1月6日(日) 恒例の新年家族祝賀会開催

クラブ便り

八日市LC

2012年11月6日（火）当クラブ環境例会と称し、例会前の午前中、東近江市、布施公園野鳥観察舎「観知溜館」及び「野草園」の清掃作業を実施。

また、今年度は地区環境委員長を輩出しているので、委員長の記念植樹も同時に行った。サツキ、ヒラトツツジ、クチナシ、センリョウ、サクランボ、ツツジ・・・など20本。

この「観知溜館」は、当クラブCN・35周年記念事業（1996年）で建設、翌年「野草園」を造園し、東近江市に寄贈したもので、以後、清掃作業と、実のなる木々を植樹し、「布施の溜池」に飛来する野鳥の観察ができて、自然に親しむ場所となっている。

今後「野草園」を5ヶ年計画位で環境整備していく予定である。



八日市LC P.R委員会

大和高田LC

CN 50周年記念大会報告

日時 平成24年10月28日（日）
場所 大和高田市さざんかホール

低迷する経済、沈滞する世相、東日本大震災という社会背景の中でのCN 50周年記念祭典の在り方について検討し、華美を戒め簡素で厳粛な大会を行うことを運営の基調とした。

当日は、335LC地区南ガバナリー以下地区役員、9Rクラブ三役、そして荒井奈良県知事、吉田大和高田市長のほか来賓各位ご臨席のもと、姉妹クラブの豊後高田LCから24名、陸前高田LCから18名が参加、総数200名の式典ではあったが、地元の片塩小学校金管クラブや、市立高田商業高校生による合唱（アカペラ）とマリンバ演奏は、厳粛な式典に僅かに華やかさを添えた。

50年という歳月はチャーターメンバー1人を数えるのみ。物故し39名を含む数多くの会員の努力精進によって今日を迎えた訳で、改めて年月の過ぎゆく速さを感じた。

主事業は市立高田商業高等学校に校門の改修と東屋の寄贈を行って記念事業とし、夢多き若人の成長を朝夕に見守り、声援を送る事を目的とした。また、「クラブ50年の歩み」と題した記念誌を作成した。会員有志が書き下ろした回想文に記念写真を挿入した40ページの小品であるが、企画、立案から印刷、製本まで総て手作りで、冊子を参加者全員に贈呈することができた。



記念大会ごとに行っている姉妹クラブとの交流会は、今回東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた陸前高田LCを励ます意図もあって、式典前日に豊後高田、陸前高田、両クラブを瀬波から天満まで水上遊覧で観光の後、世界遺産の法隆寺を案内し、思い出深いツアーになった。夜は交歓会を開き、姉妹クラブから郷土芸能が多数披露され、盛会の内に親睦を深めた。

会員夫人たちは式典当日の受付など接待に活躍し、前夜の交流会には舞踏など日頃の腕前を以って応え、姉妹交流の役目を果たした。

クラブ便り

園部LC

園部ライオンズクラブ結成50周年記念 野球教室を開催

12月2日(日)、園部ライオンズクラブ(会長し山内基義、会員32名)は結成50周年記念事業の一つである「園部ライオンズクラブ結成50周年記念野球教室」を開催した。

地元丹波軟式少年野球連盟加盟の小学生・中学生を対象に佛教大学硬式野球部の学生たちが先生となり基本的な守備やバッティング方法などを指導した。午後からはミニゲームを行い実践的なアドバイスによって技術の向上を図った。

園部ライオンズクラブは継続事業の一つで毎年9月に『園部ライオンズクラブ杯争奪軟式少年野球大会』を開催しており本年度で31回目を迎え、今回の記念事業もその延長として開催した。地元キャンパスを持つ佛教大学の温かいご理解を頂戴し、弊ライオンズクラブからはお礼として京滋リーグ公式戦公認ボールを5ダース贈呈した。早朝より保護者と共に集まった約200名の子供達に野球三昧の師走の一日を少し早いクリスマスプレゼントができたと思う。

YCE・広報委員長 廣瀬 健一



近江守山LC

「守山市民吹奏楽団 第18回定期演奏会」

日時 2012年12月9日(日)
場所 守山市民ホール

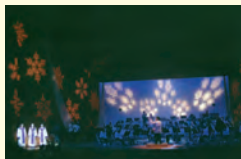
1995年、今から18年前に守山市民による市民のための吹奏楽団の設立を目指し、時の教育長遠藤繁雄先生が現団長の水野正裕先生(当時の教育委員会・現守山中学校校長)と共に、湖南中学の卒業生によるセミプロ集団ミュージカルエースのメンバーの力を得て、滋賀県内市制都市で七番目(最後)に守山市民吹奏楽団が誕生した。それも守山の文化高揚、青少年の音楽を通しての健全育成を目的とした、高適で由緒正しき楽団である。

守山市、近江守山ライオンズクラブが多額の支援をし、楽器、楽譜を揃え練習場を守山市民ホール、定期演奏会を当大ホールで行なえることとなった。もちろん守山市行政、市議会、教育委員会、守山市文化体育事業団の絶大な後援があつてこそである。水野先生と青木先生という、二人の音楽に造詣の深い先生が中学校のブラスバンドの顧問であつたことが設立時の障害を乗り越える大きなモチベーションになった。(当時の楽団員は35名、現在は60名。大人から子供達まで家族で参加出来る市民楽団。年齢幅は16歳から65歳位である。)

さて18回目は600名の聴衆の待ち受ける中、支援団体である近江守山ライオンズクラブの青木会長から育成金の授与、そしてお祝いの言葉が述べられた。



第一部二つの行進曲でスタート。中程は前後2部構成の難しい吹奏楽へと進む。どんな民間、公立を問わず練習時間と一斉練習の確保に諸楽団は悩んでいる。立ち上がり音の出の悪さが、小音量時と大音量時にハーモニーの悪さとなつて現れる。そんな理由で第一部の課題曲はいづれ聴いても手探りである。しかし第一部は別物の感で、ピンクレディーやAKB48のメドレーが耳慣れた曲で皆大喜びである。中程の「シングシングシング」は団員の方々の体も心もほぐれ、楽器も温まって音の出も良くなり、ステージと場内が一体感で包まれ、拍手の渦。青木先生の格好の良い指揮、そして高瀬慎平(チューバ)君が指揮者として初登場で場内ざわめく。一生懸命の指揮が若やいだ雰囲気である。



再び青木先生の「演歌」、洋楽の管楽器、パーカッションが意外と和楽に合う。そしてアンコール、万雷の拍手でクリスマスソング、一同サンタバージョン。ダブルアンコールは指揮者得意中の18番「ペレスブラードのマンボNO.5」良かった! 来年も是非スイングしよう。

近江守山ライオンズクラブ 会員委員長 南井 繁樹

その他の活動

- 第8回近江守山ライオンズクラブ杯「ライオンカップ」開催
- 9月30日(日) B・G・L合同例会
 - 10月25日(水) 「寿例会」
 - 11月14日(木) 「ガバナー公式訪問 6クラブ合同例会」
 - 11月22日(木) 第1186回 6R2Z 来訪例会
 - 12月22日(土) 「ピエリプレクリスマス 献血会場賑わう!」

クラブ便り

長浜LC

市立長浜病院小児病棟クリスマス慰問

市立長浜病院で小児病棟において、平成24年12月17日（月）午後2時からクリスマス会が催されました。

この日に合わせて長浜ライオンズクラブの献血福祉厚生委員会ではクリスマス慰問を企画し参加しました。

入院しておられる子供達に少しでも喜んでいただけるアクトとしてクリスマスプレゼントを用意し、会長をはじめ委員会メンバーがサンタに変装して、看護師や子供の親御様ともども楽しいひとときを過ごしました。

プレゼント明細 チビ丸号（乗用カート） 1台、キッズソファ 2台、折り紙 15セット

病院の院長や婦長より丁寧なお礼の挨拶を頂戴し、委員長もやり甲斐のある事業として今後につながれば・・・と祈念しています。

広報委員会



その他の活動

11月10日（土）臓器提供啓発街頭キャンペーン

京都洛北LC

岩倉ハイキングコース「遭難救助及びハイキング案内板」設置支援事業

ハイカーの道標に「案内板」寄贈

京都洛北ライオンズクラブでは、地元自治連合会や消防分団からの要望に応じて、岩倉ハイキングコース「遭難救助及びハイキング案内板」の設置支援事業を行いました。

京都市左京区岩倉ハイキングコースは、『関西日帰り山歩きベスト100山』にも掲載されている岩倉地区を一周するコースで、地元小学校が授業の一環としてハイキングを実施したり、家族連れや多くの方が利用する人気の高いハイキングコースです。

平成24年11月23日（金）、岩倉北小学校へ午前9時集合。岩倉北学区自治連合会長、岩倉北消防分団、岩倉明徳消防分団、洛北メンバーの総勢23名が二手に分かれ、全コースに18本の案内板の内、12本の案内板を約3時間かけて設置しました。

生憎の小雨の中スタートしましたが、岩倉の山に大変詳しい自治連合会長を先頭に、消防分団のスタッフは案内板の他に、地面に穴をあけるための金属製の筒や、筒を地面に打ち込むためのハンマー、セメント粉を手分けして運搬しての設置作業でした。

瓢箪崩山の標高は532.4m、山頂までそう遠くはないだろうと油断していましたが、スタートからの急勾配に体から汗が、頭から湯気が吹き出し、寒さは一気に吹き飛びました。悪天候にも拘らず、道すがら3組のハイカー達と出逢い、人気のコースであると実感しました。現在の標識は木製で文字が読みにくかったり、やや古びた感じでしたが、今回の当クラブ寄贈の案内板は大変判りやすく、ハイカーの皆さんの道標になるだろうと思います。

平成22年には大原ハイキングコース、そして今回の岩倉ハイキングコースに京都洛北ライオンズクラブの案内標識が設置されたことは、クラブの歴史に残るアクティビティのひとつであると感じます。



広報委員長 須野原 修二

クラブ便り

亀岡保津川LC

第5回亀岡保津川ライオンズクラブ杯 少年サッカー大会開催

亀岡保津川ライオンズクラブは、青少年育成事業として2008年より毎年、亀岡市内の小学生サッカー大会を開催しています。

大会には、市少年サッカー連盟に加盟する8教室のチームが出場。下級の部は11月24日、上級の部は12月8日に、トーナメント戦で行なわれました。

上級の部の決勝が行われた8日は、みぞれが降る厳しい寒さでしたが選手たちは保護者や指導者たちの応援の中、元気いっぱいグラウンドを走り、プレーを楽しみました。

来年もまた、素晴らしい大会となるようお願い、閉会いたしました。

PR・情報・ＩＴ委員長 北垣 芳和



宇治LC

『京都南部豪雨災害チャリティー落語会大盛況!!』

平成24年8月14日未明、突如京都府南部を襲った大豪雨。それが、京都府南部大豪雨災害です。当クラブの地元宇治でも、死者1名・行方不明者1名、床上下浸水など当クラブメンバーも被災者が出るなど、大変な災害でした。

その様な現状の中で、我々宇治ライオンズクラブも来年結成50周年という大きな節目を迎えます。それも一重に、地元宇治の皆様を支えられ、育てて頂いたからこそであります。

『何か地元の皆さんに恩返しはできないか』『役に立てないか』、その様な思いの中でこの度、H24年11月7日（水）パルティール京都で南部局地災害支援と銘打って『宇治ライオンズクラブチャリティー寄席』を開催致しました。

当日は18時30分の開演にもかかわらず、宇治市民約260名もご来場頂く大成功となりました。

出演は人間国宝桂米朝師匠の弟子・桂団朝さん、一門の桂しん吉さんでした。団朝さんのマクラでは、ちよっとおもしろい話として「師匠米朝は御年88歳の米寿で虫歯は一本もなし！すべて総入れ歯・・・これが本当の噺家か!？」などが飛び出るなど会場は爆笑の渦となりました。

そして演目は「寄せ酒」「短命」と師匠譲りの古典が2席とまさに緊張と笑いの繰り返しで、最後には団朝さんとジャンケンをしての大抽選会と楽しいひとときになり無事『宇治ライオンズクラブチャリティー寄席』を大成功にて終えることができました。

また当日のチャリティー収益金全額と3351C地区、姉妹クラブ人吉LCより戴いた義援金合計71万円を宇治ライオンズクラブ植村会長より、社会福祉法人宇治社会福祉協議会に寄贈致しました。

感謝・合掌



宇治ライオンズクラブ 計画出席委員長 栗津 聖士

クラブ便り

京都平安LC

3R1Z親善チャリティゴルフ大会

平成24年11月11日（日）、瀬田ゴルフコースにて3R1Z親善チャリティゴルフ大会が行われました。生憎く一日中雨が降る中での開催となりましたが、京都橘・京都北・京都洛北・京都洛央・京都平安LC5クラブ総勢33名の参加者全員無事にホールアウトすることができました。

昨年度同様チャリティとして「シヨートホールでワンオンしなかった人は各ホール500円寄付」のペナルティボックスが用意されました。悪天候のせいでしょうか実力以上に多くの方がチャリティに御協力いただいたよつな気がします。



表彰式・懇親会は時刻よりグランドプリンスホテル京都で行われ、ゾーン・チェアパーソン山田光男より団体戦優勝の京都洛北LCに優勝カップが贈られました。また、個人戦では京都洛北LCの山本勝己が優勝の栄誉に輝かれました。

懇親会場では、京都洛北LC提供の果物等がチャリティ販売され懇親会場をおおいに盛り上げていました。

今大会では各クラブ全員より義援金を頂戴するとともに、これら併せたチャリティ金を基として、3R1Z合同アクティビティとして東日本大震災復興支援事業を行う予定です。

今回ご参加いただいた多くのメンバーに感謝申しあげるとともに、3R1Z合同アクティビティが震災復興の一助になることを願って止みません。



京都平安ライオンズクラブ 幹事 太田 守

彦根LC

445名 絶賛!! 生きる力・思春期のライフスキル教育

今年度彦根ライオンズクラブ単独事業のひとつである、「生きる力・思春期のライフスキル教育」を青少年指導委員長今川隆雄始め委員会が総力を結集して取り組みました。

地元彦根市及び犬上郡から中学校8校を選抜し、2年間にわたり延べ1250名の中学1年生を対象にワークショップを実施することとなります。本年度は去る10月25日、26日の2日間、4校の中学1年生を対象に講師北山先生を迎え、全校初めての中学校出前ライフスキル教育を開催しました。生徒指導は初めての北山先生、特別プログラムのもと延べ445名の生徒が90分の学習に一生懸命取り組み姿に、参加した我々メンバーも感激！来年も4校805名を対象に実施を予定しております。

生徒からの感想文では、受講して良かったと多くの生徒さんから絶賛して頂きました。

一部を紹介いたします。

① 今日の授業は分かりやすく楽しかったです。最初は何をやるんだろう？って思ってたのに、授業を受けてみたら、楽しくって分かりやすくビックリしました。こんなに分かりやすい授業は初めてです。全部の授業がこんなに分かりやすかったら、中間テストも点数が上がるかもしれないのについて思いました。聞く前は、2時間も同じ授業なんて絶対眠くなるし、つまらなくなるわーって思ってたのに、つまらなくもなくて、眠たくもなくて、びっくりしました。私は一生タバコなんて吸いたくないなーって思いました。っていうより、一生吸わないでおこうと思います。だってタバコなんか吸ったら、病気にもなるし、死ぬ可能性が多いし……。

② 今日は生き方について学びました。あと、タバコ（薬物）のことなどもお添えて頂きました。タバコは薬物の一つということ、目標を立てて頑張ることなども生き方につながることで、私は、責任をもって行動する人になりたいし、友情を大切にしたいし、言われた事は最後までやるということ大切に頑張りたいです。



彦根ライオンズクラブ 青少年指導委員長 今川 隆雄

その他の活動

11月21日（水）「ビッグなイベント」

クラブ便り

香芝LC

し澤田喬ホーム例会皆出席

1000回達成記念祝賀会

平成25年1月22日（火）香芝ライオンズクラブメンバーのし澤田喬が、メークアップなしのホーム例会皆出席1000回達成という前人未踏の大記録を達成され、その記念祝賀会を檀原ロイヤルホテルにて開催いたしました。

1000回と一言でいいますが、その第一歩は1971年5月までさかのぼらねばなりません。

約42年間、医師として地域医療に従事される忙しい日々の中、ライオンズメンバーの誇りを持ちホーム例会に出席し続けてこられたし澤田のライオンズ精神は、とても真似のできない素晴らしいものであり、我々香芝ライオンズクラブメンバー一同の模範であります。

祝賀会では、児玉保次第一副地区ガバナー並びに秋山泰行地区GLT委員長を始め、9R12各クラブの会長または幹事の皆様、香芝市副市長の鎌田裕康さまにご来臨いただき、し澤田へ温かい御祝辞を賜りました。

また、し澤田のご子息のご令室である澤田牧子さんによるピアノ演奏、ソプラノオペラ歌手の中川令子さんによる美しい歌声で花を添えていただき、華やかで、また非常に和やかな良い祝賀会になりました。

し澤田にとりまして、この1000回が決してゴールなのではなく、これからのまた新しいスタートとして、1000回、1002回と歩んで行って頂けると幸いです。

我々はそんなし澤田を心から誇りに思い、素晴らしい先輩と共に香芝ライオンズクラブの団結をさらに深め地域への奉仕活動を進めて参りたいと気持ちを新たにいたしました。

PR・情報・IT委員長 上田 修



京都鳥羽LC

第20回京都鳥羽ライオンズクラブ杯 障がい者バドミントン向日市交流大会

12月に入りすっかり肌寒くなってきた2012年12月2日（日）に向日市民体育館において、第20回京都鳥羽ライオンズクラブ杯障がい者バドミントン向日市交流大会を開催しました。当日は、地区ガバナーし南清右衛門、4R3Zゾーンチェアパーソンし金本有作にご臨席賜り、また、久嶋務向日市市長にもご臨席賜り盛大に記念大会を行うことができました。

この大会は、向日市バドミントン協会様のご協力により、障がい者の方のスポーツ振興と福祉の向上を目的に、第2回大会より企画し、以後当クラブのメインアクティビティとして開催して参りました。当初は主に聴覚障害者の方を対象とした大会でしたが、一昨年より広く障がい者の方々にも参加していただき、現在に至っております。



今年の大会は記念大会ということもあり、京都、滋賀、奈良、大阪、兵庫、和歌山から総勢72名もの選手の皆さんに参加していただきました。競技は、個人ダブルス戦、車イスの部、団体戦を行い、選手の皆様はそれぞれ真剣に、白熱した闘いを繰り広げ、どの試合も手に汗握る大接戦、選手の気迫が伝わる大会となりました。試合終了後は各部門の成績優秀者を表彰し、闘いを終えた選手同士、また協会の方々や我々ライオンズクラブと友好を深め、来年の再会を約束し、大会は閉会しました。

毎年、この大会の開催、運営に多大なるご尽力を賜っている向日市バドミントン協会の皆様、手話をしていただいているボランティアの皆様、遠方より参加していただいている選手、関係者の皆様に心より厚く感謝を申し上げます。

会員委員長 吉田 和之



クラブ便り

京都市南LC

第15回KJ杯争奪中学生サッカー大会

去る2012年1月26日(土)・27日(日)に山城運動公園太陽が丘第2競技場及び球技場Aにおいて「第15回KJ杯争奪中学生サッカー大会」を開催致しました。今では、新春を飾る大会として、すっかり地域に定着した本大会も今年は、「第15回目」の記念大会として参加チーム16チーム(中学校12校とクラブチーム4チーム)で盛大に開催されました。生憎と1日目は風の強い寒い中でしたがお陰様で両日ともお天気に恵まれ、総勢400名の選手の熱戦が繰り広げられました。

初日の開会式には一般来賓はじめ地区方バナー他ライオンズクラブ関係者総勢25名の来賓のご臨席のもと、宇治市議会議長久保田幹彦様、ライオンズクラブ国際協会4R3Zゾーンチエアバソン金本有作様からも励ましのご祝辞を頂戴し、精華中学校サッカー部主将野添航太郎君の力強い選手宣誓により開幕致しました。

第15回大会を記念して優勝カップも新調し、3位決定戦・決勝戦の2試合は、選手たちの念願だった憧れの「陸上競技場」の芝生会場で開催出来ました。ボールを一心に追う輝いた選手たちの目、日ごろの練習の成果を果すべく必死に掛け巡る選手たちの姿からメンバー一同熱いものを感じました。地域の青少年健全育成の一環として取り組んだ本大会も実りある大会で、いつの日かこの選手の中からJリーグのメンバーとして活躍する選手が出てくれる事を期待して改めて、We Serveの意義を実感致しました。

この大会にご協力頂いた宇治サッカー協会、宇治市中学校体育連盟他関係各位に心から厚く御礼申し上げます。
尚、成績結果は下記の通りです。

【成績結果】

- | | |
|-----------------|------------------|
| ・優勝：宇治FCジュニアユース | ・準優勝：京都市立桂中学校 |
| ・三位：久御山バイソンズF.C | ・四位：木津川市立木津第二中学校 |
- 《ベストイレブン》
- | | |
|----------------|---------------------|
| ・泉 蓮一郎(宇治F.C) | ・浅澤 甲斐(桂中学) |
| ・影山 大貴(宇治F.C) | ・中島 颯太(桂中学) |
| ・辰本 蓮太郎(宇治F.C) | ・野澤 直樹(桂中学) |
| ・藤田 零治(宇治F.C) | ・薬原 脩平(久御山バイソンズF.C) |
| ・樋口 岳(木津第二中) | ・中西 延気(久御山バイソンズF.C) |
| ・中川 拓磨(木津第二中) | |

PR委員長 藤本 浩伸



草津LC

草津市子ども環境会議の開催

日時 平成25年2月2日(土)
場所 草津市役所1階ロビー

草津市の環境について子ども達を中心に大人と子どもが考えて議論をする場として「草津市子ども環境会議」が2月2日(土)に草津市役所の1階ロビーの全フロアを開放して開催されました。

「草津市子ども環境会議」の開催は子ども達への環境学習に関する盛り上がりを持続・推進させ環境保全活動の支援を継続し、環境文化が根付くことを目的として草津市環境課が中心とした環境会議実行委員会と草津市教育委員会の共催と草津ライオンズクラブの協賛により、平成13年に第1回目を開き今年で12回目を開催する運びとなりました。草津ライオンズクラブは打ち合わせ会議に出席し、当日の参加者送迎用バス3台と参加者への記念品提供とライオンズクラブ子どもエコ奨励賞を実行委員会に協賛させてもらっています。

当日のスケジュールは、実行委員長並びに草津市長の挨拶に始まり、子ども達が環境問題について語り合う「子どもと大人の環境井戸端会議」では子ども達が「移動距離が短いときは自動車ではなく自転車などを使う」「家では暖房に頼るのではなく、毛布を使うなど工夫する」などと発表をしました。そして、環境保全活動を壁新聞などで紹介する各コーナーをスタンプリリー形式で巡る「エコ活動取材ラリー」では「びわ湖の環境」「ヨシのはたらくの調査」「田んぼの生き物の観察」「リサイクルのすすめ」「節電・節水のとりくみ」等々50項目の発表があり、子ども達が自分で作成した内容を各コーナーで発表し、それを他の子ども達が興味を持って聞き入っている姿が印象的でした。その50のエコ活動の中から、毎年4万個のペットボトルのキャップを集め、キャップを使って、顔などの作品を文化祭の為に作成し、終了後はキャップを外し、ポリワックン用に提供している光泉中学校の活動に草津ライオンズエコ奨励賞を贈呈しました。



又、かざぐるまを使いタイムレースで競う「かざぐるまパワーコンテスト」も例年通り子ども達の熱気、歓声で盛り上がりつつありました。そのあとに副実行委員長の草津ライオンズクラブ第3副会長のL・河田健司の挨拶で閉会となりました。



最後になりましたが、日頃の環境保全活動の輪も10年以上経過し、中学生・大学生・住民団体への広がりをみせ、本日、参加した約500名の草津市民がお互いの活動への理解を深めていることに感激しました。そして、今後も草津ライオンズクラブとして草津市の豊かな環境を将来に引き継ぎ継続して環境学習・環境保全活動を推進していくようにしていきたいと思っています。

クラブ便り

3R1Z合同

3R1Z合同アクティビティ

東日本大震災復興支援活動

3R1Z（京都平安・京都橘・京都北・京都洛北・京都洛史）では、今年度のゾーン・チェアパーソンに坂田光男主催のガバナー諮問委員会で、ゾーンの事業として「東日本大震災復興支援事業」を昨年度に引き続き実施することを決定し、年3回開催する5クラブ合同例会で食品即売会や募金を行うとともに、ゾーン親善チャリティゴルフ大会の実施で資金を調達しました。

京都洛北ライオンズクラブの姉妹クラブ・盛岡不来方ライオンズクラブに支援先を相談したところ、岩手県上閉伊郡大槌町を紹介されました。この大槌町は、町役場が津波の直撃を受け、町長を含む職員の約4分の1を失い、JR大槌駅の駅舎を流失するなど壊滅的被害を受けた自治体の1つです。復興が他の市町村より遅れている状況下であり、特に図書が不足しているとの報告を受けました。

地元の大槌ライオンズクラブが教育委員会と相談して図書選定の労を取ってくださることになり、3321B地区（岩手）経由で大槌町教育委員会へ図書購入資金として百万円を寄贈することになりました。津波の被害や耐震性の問題から校舎が使用できなくなった大槌町の4小学校が統合し、今春から新小学校としてスタートする「大槌小学校」の図書充実のために使われることになり、正にグッドタイミングの支援となりました。

去る2月6日（水）、ゾーン・チェアパーソンに坂田と5クラブ会長がキャ



ビネット事務局を訪問、南清右衛門地区ガバナーが入院中のため、児玉保次第1副地区ガバナーに目録を贈呈しました。し児玉より「本当に困っている所に、本当に不足している物、不自由している物を支援することは意義あるアクティビティだと思います」と感謝の言葉をいただきました。

遊覧船が建物の上に打ち上げられている映像は、まだ私たちの記憶に新しいところですが、その大槌町の復興に少しでもお役に立てればと願っております。この支援活動を通じて5クラブの交流が深まり、また、合同故の有意義なアクティビティが実施できました。

3R1Zゾーン・チェアパーソンセクレタリー

松本 義和（京都洛北LC）

奈良西LC

二〇一三年二月十一日（祝）第一回奈良ウエストライオンズカップミニラグビー大会（奈良県ラグビーフットボール協会主催・奈良西ライオンズクラブ共催）を天理大学白川グラウンドで選手並びに保護者、関係者合わせて約二〇〇人が参加して行われ、幼児から六年生までのちびっこラグーマンとママラグーマンが寒風の中、熱戦を繰り広げた。

県内の生駒、とりみ、桜井、郡山、やまのべ、橿原、御所、広陵、前栽のラグビースクールに所属する選手らが学年別で優勝を争った。ハチチームが参加した九人制の六年生の部の決勝は、前栽（天理市）が先制トライを決めたが、とりみ（奈良市）が後半早々とトライをかせいし同点。すかさず前栽が勝ち越したものの、終了間際にとりみが追いつき引き分け同点優勝となった。

当クラブでは、来年度のチャーターナイト五十周年を記念してこのラグビー大会の開催を決め、今回は、大会横断幕、学年ごとの優勝カップ、優勝・準優勝のメダル、参加ラグビースクールへラグビーボールを寄贈した。



奈良県は今年全国高校ラグビーで御所実業高校が準優勝するなどラグビーの盛んな土地柄。オリンピック七人制ラグビーが正式種目に加わったり、ワールドカップの日本開催が決定している昨今、ラグビーに子どもにもっと親しんでもらいチームプレーの中から思いやりや感謝の気持ちを育ててほしいと願っている。

（この大会は当初十一月三日に開催を予定していたが雨天のため順延されていた。）

奈良西ライオンズクラブ

第一副会長 田中 浩





L 日下部嘉昭
(S.28年1月25日生)

京都賀茂L・C

(株)日下部製作所
取締役会長
鉄工業(金属精密加工)



L 谷間 良治
(S.23年6月21日生)

京都京洛L・C

(株)YKT 企画
代表取締役
賃貸業



L 渡邊 博司
(S.41年10月31日生)

京都L・C

渡元株式会社
取締役
帯地製造業

新会員の紹介

おめでとーございます



L 前田 継道
(S.41年5月27日生)

京都堀川L・C

瑞峯院
副住職
僧侶



L 関口 智子
(S.35年2月22日生)

京都鴨川L・C

有限会社関口瓦店
代表取締役
屋根工事業



L 宝輪 克博
(S.33年2月4日生)

京都鴨川L・C

武田病院グループ本部
本部医事管理担当部長
医療・福祉サービス



L 飯島 徹也
(S.44年5月2日生)

京都うずら野L・C

プルデンシャル生命保険(株)
課長
生命保険業



L 松尾 敏
(S.36年6月3日生)

京都うずら野L・C

医療法人綾直会
まつおこどもクリニック
院長
小児科医師



L 山口 隆造
(S.27年7月22日生)

京都うずら野L・C

(株)山口
不動産業・非鉄金属卸売業



L 嘉田 邦康
(S.45年11月29日生)

京都東L・C

株式会社いづ萬
代表取締役社長
蒲鉾製造業



L 北村 豪
(S.38年10月23日生)

京都東L・C

JTB 西日本団体旅行京都支店
支店長
旅行業



L 内村 和朝
(S.52年7月26日生)

京都紫明L・C

四条法律事務所
弁護士



L 榊中 俊良
(S.25年2月25日生)

京都北L・C

榊中登記測量事務所
所長
司法書士・土地家屋調査士



L 木村 厚文
(S.20年2月3日生)

京都洛中L・C

コンピュータ・システム株式会社
取締役会長
測量機器の販売・ソフトウェアの開発



L 竹村登茂枝
(S.28年11月11日生)

京都華頂L・C

(有)竹村瓦商会
取締役
社寺関係屋根瓦葺工事施工



L 中島須摩代
(S.18年7月6日生)

京都華頂L・C

浄慶寺
住職
僧侶



L 相良栄美子
(年1月3日生)

京都桃山L・C

株式会社相良
専務取締役
木材業



L 小畠 範彦
(S.56年9月12日生)

京都桃山L・C

テクハン株式会社
常務取締役
不動産業



L 山岸 隆行
(S.38年7月31日生)

京都桃山L・C

山岸たかゆき事務所
京都市議員



L 川勝 征一
(S.17年3月4日生)

京都桃山L・C

有限会社川勝産業
会長
仮設足場式典リース業



L 濱口 直美
(S.36年11月18日生)

京都嵐山L・C

宮川町 はまぐち
代表者
接客業



L 島田梨津子
(S.34年7月10日生)

京都鳥羽L・C

祇園 しま田

サービス業(飲食)



L 扇 まこ
(S.34年1月25日生)

京都鳥羽L・C

M 企画
代表者
歌手



L 中澤 愛美
(S.40年6月2日生)

宇治L・C

CG&CRAFT まあ工房
代表者
グラフィックデザイン



L 木谷真紀子
(S.48年12月31日生)

京都むらさきL・C

同志社大学

嘱託講師



L 藤井 克枝
(年2月3日生)

京都桃山L・C

共栄印刷紙業株式会社
取締役会長
印刷業



L 堤 一雄
(S.45年12月11日生)

亀岡L・C

(株)堤製作所
専務取締役
建設業



L 西脇 隆雄
(S.45年9月21日生)

亀岡L・C

(株)西喜
代表取締役
建設業



L 柳原 和明
(S.24年12月16日生)

亀岡L・C

京北商事(有)
代表取締役
進物品卸小売



L 嶋本 直美
(S.60年11月13日生)

京都鳥羽L・C

しま文
代表
飲食業



L 桜井 正基
(S.52年11月9日生)

京都鳥羽L・C

GMT, INC
代表取締役
貿易業



L 青木 善彦
(S.33年10月16日生)

大津L・C

青木善彦税理士事務所
(有)ベスト・パートナー
代表取締役/税理士
税理士



L 山田 哲幸
(S.46年3月23日生)

久美浜L・C

久美浜温泉
取締役
旅館業



L 茶谷 哲
(S.40年7月18日生)

宮津L・C

茶六本館
旅館業



L 浪江 敏一
(S.40年4月20日生)

宮津L・C

株式会社ゲットバリュー
代表取締役
印刷・広告業



L 和田 光夫
(S.29年5月27日生)

宮津L・C

株式会社和田石材
代表取締役
石材加工・販売



L 中島 隆人
(S.43年1月7日生)

栗東L・C

(有)宅壹堂
代表取締役
不動産、建築業



L 松岡 良忠
(S.28年11月17日生)

栗東L・C

セイレイ興産(株)
琵琶湖カントリー倶楽部
支配人
ゴルフ場事業



L 野口 真純
(S.49年1月14日生)

大津びわこL・C

居酒屋 Jun 純
オーナー
居酒屋経営



L 狩野 彰宏
(S.51年3月6日生)

大津L・C

(有)カノ電機
専務取締役
電気・空調設備工事



L 深尾 秀昭
(S.47年3月31日生)

大津L・C

(株)秀月
代表取締役
建設業



L 堤 吉男
(S.33年6月9日生)

八日市L・C

銘茶 ますきち
店主
緑茶販売



L 岸本 邦臣
(S.30年5月16日生)

八日市L・C

株式会社ヒトミワイナリー
取締役社長
ワイン販売



L 瀬戸 俊男
(S.23年6月19日生)

八日市L・C

(医)健歯会住井第二歯科医院
歯科医師
歯科医



L 永友 利哉
(S.52年8月19日生)

栗東L・C

有限会社第一ツーストビクトリー
旅行業



L 大山 政直
(S.49年6月4日生)

栗東L・C

大山工務店
代表
建築業



L 平尾 道善
(S.42年2月17日生)

長浜L・C

(株)浜宇治園
代表取締役
茶製造・販売



L 土田 裕士
(S.42年1月8日生)

長浜L・C

株式会社ラッキーモータース
代表取締役
自動車販売



L 久保 幸彦
(S.39年6月4日生)

長浜L・C

大和リゾート(株)
長浜ロイヤルホテル
営業部副支配人
サービス業(ホテル)



L 中村 正幸
(S.29年9月12日生)

近江八幡L・C

アインズ(株)
執行役員
管理統轄



L 藤本 晃
(S.16年11月22日生)

近江八幡L・C

浄土真宗本願寺派西福寺
紫雲保育園
住職・園長
住職・園長



L 木村 政夫
(S.26年5月30日生)

奈良セントラルL・C

奈交フーズ株式会社
代表取締役社長
飲食業



L 山下 明
(S.24年10月27日生)

奈良セントラルL・C

(株)奈良ロイヤルホテル
代表取締役
ホテル



L 中村 正徳
(S.32年8月11日生)

桜井L・C

大和信用金庫本店
本店営業部 部長
金融業



L 小池 洋一
(S.23年12月4日生)

桜井L・C

小池医院
院長
医師



L 伊藤 文雄
(S.42年5月2日生)

長浜L・C

タジマヤ
代表
布地、制服販売



L 北坂 幸三
(S.42年12月3日生)

大和高田L・C

紀陽銀行 高田支店
支店長
金融業



L 村井 文男
(S.35年10月27日生)

斑鳩L・C

(株)南都銀行 法隆寺支店
支店長
金融業(銀行)



L 岡崎 育史
(S.32年11月12日生)

奈良西L・C

岡崎松光堂
代表者
土産菓子製造



L 三橋 秀光
(S.30年8月25日生)

奈良西L・C

株式会社南都銀行
取締役本店営業部長
銀行業



L 峯島 妙
(S.32年6月21日生)

生駒L・C

生駒市役所
教育総務部部長
地方公務員



L 植西 淳志
(S.33年8月12日生)

大和磯城L・C

(株)南都銀行 田原本支店
支店長
金融業



L 大西 芳雄
(S.28年4月10日生)

宇陀L・C

株式会社榛原石油
代表取締役
ガス販売・菓子販売・
クリーニング・不動産管理



L 吉岡 豊
(S.26年2月12日生)

宇陀L・C

吉岡豊司法書士事務所
司法書士



ご冥福をお祈り申し上げます。



故 L 中野 博
京都乙訓LC
没 平成24年11月2日
享年86才

ライオン歴

1988年5月11日 入会
1993年 テールツイスター
1994年 会計
1997年 第三副会長
2000年 第一副会長
2001年 会長
2003年 会員理事



故 L 堀井 甚逸
城陽LC
没 平成24年10月22日
享年81才

ライオン歴

1984～1985年度 会長
1992～1993年度 335-C地区 4R RC



故 L 吉村 完治
香芝LC
没 平成24年10月12日
享年67才

ライオン歴

1991年10月1日 入会
2000年度 幹事
2004年度 第3副会長
2005年度 第2副会長
2006年度 第1副会長
2007年度 会長
2010年度 地区PR・情報副委員長



故 L 今井 俊夫
京都朱雀LC
没 平成24年10月7日
享年72才

ライオン歴

1980年 入会 チャーターメンバー
1997～1998年度 幹事
2002～2003年度 会長
2003～2004年度 1R2Zゾーンチェア・
パーソンセクレタリー
2007～2008年度 会計
2008～2009年度 幹事
2009～2010年度 1R2Zゾーンチェア・
パーソン



故 L 三輪 成保
京都北LC
没 平成24年12月17日
享年82才

ライオン歴

平成12年 クラブ会長
平成17年 3R1Z ZC



故 L 前越 弘光
奈良LC
没 平成24年12月9日
享年71才

ライオン歴

2012年度 第一副会長
2005年度 クラブ会計
2004、2008年度 一年理事
2006、2009年度 二年理事



故 L 石河 敏秀
桜井LC
没 平成24年12月7日
享年82才

ライオン歴

1963年4月 入会 チャーターメンバー
1970年～1971年度 テールツイスター
1972年～1973年度 幹事
1973年～1974年度 理事
1974年～1975年度 第二副会長
1975年～1976年度 会長
1976年～1977年度 地区献血委員
1978年～1980年度 理事
1982年～1984年度 理事
1986年～1988年度 理事
1990年～1991年度 地区会計監査
1992年～1994年度 理事
1997年～1999年度 理事



故 L 山内 哲男
園部LC
没 平成24年11月28日
享年82才

ライオン歴

1978年 入会
1993年 クラブ会長
1999年 5R1Z・ゾーンチェアパーソン
2005年 5R・リジョンチェアパーソン



故 L 塩貝 喜内
園部LC
没 平成25年1月9日
享年88才

ライオン歴

1963年5月 入会
1970年度 幹事
1973年度 地区レオ委員
1980年度 地区環境保全委員
1982年度 第20代クラブ会長
1984年度 ゾーン・チェアパーソン
1990年度 リジョン・チェアパーソン



故 L 大垣 和央
京都パレスLC
没 平成25年1月7日
享年82才

ライオン歴

1992～1993年度 会長



故 L 南元 文夫
大和郡山LC
没 平成25年1月7日
享年98才

ライオン歴

1965年 入会 チャーターメンバー
1977年度 第13代会長
1992年度 地区環境保全副委員長
1993年度 地区環境保全委員長
1995年度 8Rリジョン・チェアパーソン



故 L 早瀬 通明
京都洛陽LC
没 平成24年12月24日
享年83才

ライオン歴

2001～2002 会則委員長
2004～2005 一年理事
2005～2006 二年理事
2008～2009 市民教育・環境保全委員長
2009～2010 二年理事



ご冥福をお祈り申し上げます。

2013
3



故 L 森川 保治

大和高田LC

没 平成25年2月1日
享年90才

ライオン歴

1960年7月 入会
1965年度 第5代会長
1966年度 ゾーンチェアマン
1969年度 デビュティ・ガバナー
1976年度 地区幹事
1994年度 環境保全委員長



故 L 三井 博

京都ロイヤルLC

没 平成25年1月29日
享年73才

ライオン歴

1978年6月15日 入会 チャーターメンバー
1995年度 第二副会長
1999年度 第一副会長
2000年度 会長
2003年度 会員理事



故 L 石井 準一郎

京都乙訓LC

没 平成25年1月10日
享年89才

ライオン歴

1963年3月15日 チャーターメンバー
1991年 会長
2002年 3R3Z ゾーンチェアマン



感謝

この度、ライオンタイムズ535

号発刊にあたり、各クラブ皆様に

御協力いただき、ありがとうございます

いました。

今後とも各クラブ様のご投稿並び

に広告の御協力お願い申し上げます。

す。

PR・情報・IT委員長

松岡 勲

副委員長

加藤和利

藤田弘美

中野幸彦

染川 尚

担当運営委員

飯田謙二

- ・各宗石碑
- ・吉相墓碑
- ・新墓地御紹介



山科区役所玄関前

山科区史跡案内石碑（京都洛東 LC 寄贈）

- ・記念碑
- ・神社・仏閣石材
- ・石工事設計・施工

創業明治35年 品質第一 石匠位 一級技能士 お墓ディレクター



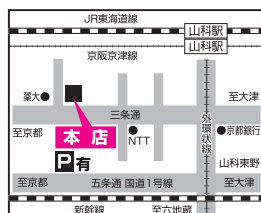
有限
会社

山本石材店

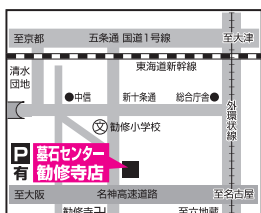


URL <http://www.yamaseki.com>

日曜・祝日も営業しております。営業時間／AM8:00～PM6:00



本店
〒607-8411
京都市山科区御陵大津畑町53
(京都薬大東隣)
電話 (075) 581-1915 (代)
FAX (075) 581-7600



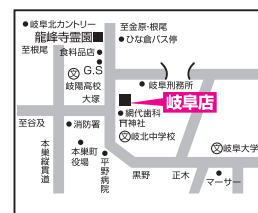
墓石センター(勤修寺店・工場)
〒607-8411
京都市山科区勤修寺瀬戸河原町1
(勤修小学校下ル)
電話 (075) 592-2350 (代)
FAX (075) 501-3122



大津店
〒520-0816
滋賀県大津市相模町2-44
(国道膳所)
電話 (077) 525-7777 (代)
FAX (077) 525-6974



雄琴店
〒520-0107
滋賀県大津市雄琴北2丁目27-12
(おごと温泉駅北)
電話 (077) 577-1234 (代)
FAX (077) 577-3838



岐阜店
〒501-1183
岐阜市則松1丁目28 (大塚北)
電話 (058) 239-9740 (代)
FAX (058) 239-9654

L 山本 嘉彦 (京都洛東 LC)

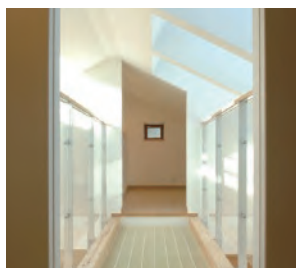


www.muso-ao.jp

ずっと先の未来も
快適に暮らせる家造り

一級建築士事務所
有限会社 夢創建築事務所

〒607-8464 京都市山科区上花山久保町 57 TEL.075-501-9555



L 松延 梁市 (京都京洛 LC)

第25回 国際平和ポスターコンテスト 複合地区審査会

水口ライオンズクラブスポンサーの、佐藤さん
第25回 国際平和ポスター・コンテストで優秀賞!!!

—335複合地区審査会結果報告—

◎ 応募作品数：335-A地区 2,143枚
335-B地区 5,791枚
335-C地区 16,737枚
335-D地区 642枚
合計 77,433枚

◎ 入賞作品：

氏名	学校名	学年	地区名	ポスター名
最優秀賞 佐藤 如月	甲賀市立伴谷東小学校	6年	335-C	水口 LC
優秀賞 高石 悠生	尼崎市立園田北小学校	5年	335-A	尼崎北 LC
〃 木本 沙希	大阪市立日吉小学校	6年	335-B	大阪四ツ橋 LC
〃 矢盛 亜美	京都市立正親小学校	6年	335-C	京都洛陽 LC
〃 深江 滯	たつの市立御津小学校	6年	335-D	はりま御津 LC

◎ 入賞作品については、2013年5月26日(日)に開催される第59回 335 複合地区年次大会において表彰して頂く。

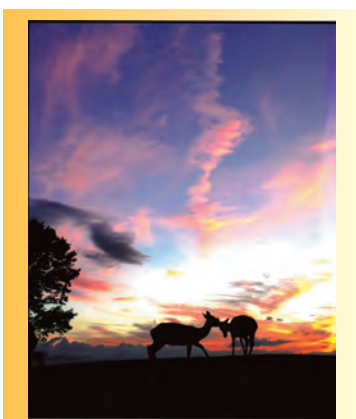


—国際レベルの最終選考結果報告—

優秀賞 佐藤 如月 甲賀市立伴谷東小学校 6年 335-C 水口 LC
今年の平和ポスター・コンテストには、55 力国から約 400,000 人の子どもたちが参加しました。クラブ、地区、複合地区での各審査を通過した 117 枚のポスターが、国際レベルでの最終審査の対象となりました。その結果、創造性および独創性にあふれ、「平和を想像しよう」のテーマをうまく表現した貴クラブからの応募作品が、23 点の優秀賞作品の一つに選ばれました。貴クラブがスポンサーされた優秀賞受賞者には、500 ドルの賞金と表彰状が贈られます。

本コンテストの大賞受賞者は、米カリフォルニア州のジェニー・バクさん(13 歳)です。23 点の優秀賞作品には、ブラジル、カナダ、チリ、中国、キプロス、エクアドル、インドネシア、イスラエル、日本、ナイジェリア、フィリピン、南アフリカ共和国、そしてアメリカ合衆国(アラスカ州、ハワイ州、ミネソタ州、ミズーリ州、オレゴン州、ウェストバージニア州)からの作品が選ばれました。

335-C 地区・複合地区・ライオンズ環境保全写真コンテスト



複合地区 優秀賞

『絆』

大和郡山 LC 富川 哲男

335-C 地区ライオンズ環境保全写真コンテスト審査会が、過日 1 月 30 日(水)地区キャビネット事務局で、L 辻地区キャビネット幹事(南地区ガバナー欠席)の下、開催され厳正な審査の結果、以下 5 点を(G 賞・幹事賞・委員長賞・入賞(2 点))を選び、複合地区へと送りました。

2 月 12 日(火)複合地区事務局で、国際協会への審査が再び行われました。しかし、ライオンズ環境保全写真コンテストの認知度、如いては地区環境保全委員会の活動すらも各地区とも認知度は少なく、各クラブそれぞれに奉仕活動はやっているものの、統一的な活動や行事は年度が始まってから依頼をお願いしても、予算や行事予定の決まった後にはでは応じて頂けないのが現状です。委員会において、その様な意見が多く出た今回でしたが、4 準地区とも若干ながら例年よりも多くの応募を頂いた事が励みとなりました。

今回、L 奥村協議会議長が同席され、ご挨拶を頂いた後、審査に入ったが優秀な作品が多く応募総数 25 点の中、B 地区から出展された海底の写真、テーマ【和歌山 印南の海】L 池田安雄(東大阪中央 LC)の作品が最優秀賞に輝きました。

残念ながら我が C 地区の L 富川哲男(大和郡山 LC)のテーマ【絆】も、ノミネートされましたが優秀賞と成り、審査の後、L 奥村議長から「この様に優秀な作品が出展され、写真撮影を通して環境保全の重要性を認識するのが目的である。今後も、もっと多くの作品を出展してもらう為に、今年度から賞金を倍増する。この様な事にこそ大切な浄財を使わなければ」との有難い言葉を頂きました。

多くの作品を出展して頂きました LC メンバーの皆様、本当に有り難う御座いました。今回、残念ながら入賞されなかったメンバーの皆様も、次年度こそ入賞されます事を祈念致しまして御礼といたします。

335-C 地区環境保全委員長 外村 善一

335-C 地区 入賞作品一覧

R Z	クラブ名	氏 名	題 名	分 野	賞	複合地区審査結果
1R1Z	京都京洛	横 山 平八郎	おしどり夫婦 視点は同じ 宝ヶ池で撮影	動 物	入 賞	
2R1Z	京都洛陽	(故)早 瀬 通 明	天地創造	景 観	特別賞	
5R1Z	亀岡保津川	堤 治 雄	平の沢池・オニバス	植 物	委員長賞	
6R2Z	近江守山	川 北 美津夫	山紫水明 (三上山)	景 観	幹事賞	
7R1Z	八日市	星 田 昌 之	秋の永源寺	景 観	入 賞	
8R2Z	大和郡山	富 川 哲 男	『絆』	美しい田舎	ガバナー賞	優秀賞

Lions Times

ザ・ライオンタイムズ(335-C 地区機関紙)

発行日◆2013年3月18日

発行者◆ガバナー 南 清右衛門

発行◆ライオンズクラブ国際協会 335-C 地区 PR・情報委員会

編集者◆PR・情報・IT 委員長 松岡 勲(京都南 LC)

事務局◆〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路

リーガロイヤルホテル京都 3F 364 号室

TEL.(075)344-0258

FAX.(075)344-0277

編集後記

三寒四温の季節となり、目前に春の足音が聞こえて来しました。

今号は、キャビネット各委員会の活発な動きなどをお伝えし、更には当委員会が実施しました第25回国際平和ポスターコンテストの三府県での展示会場の模様なども各会場でお世話になったクラブメンバーの皆さまへの御礼を兼ねて報告いたしました。嬉しいことに、水口 LC (滋賀県)から出展された佐藤如月様の作品が国際協会の優秀賞に選ばれました。誠にありがとうございました。

各クラブ様からも多数の活動報告をいただきページを飾ることができ、ありがとうございました。

目前に地区年次大会が迫ってまいりました。一同に会せる日を楽しみにしております。

地区 PR・情報・IT 副委員長 中野 幸彦

PR・情報・IT 副委員長 加藤 和利(京都京洛 LC) 藤田 弘美(京都薫風 LC)

中野 幸彦(彦根 LC) 染川 尚(奈良 LC)

担当運営委員 飯田 謙二(野洲 LC)

◆インターネットホームページ <http://www.335c.com/> ◆E メールアドレス lions@skyblue.ocn.ne.jp